

日本外傷データバンク報告 2013 (2008-2012)

JAPAN TRAUMA DATA BANK REPORT 2013 (2008-2012)

- 日本外傷学会 ト라우マレジストリー検討委員会 
- 日本救急医学会 診療の質評価指標に関する委員会 

図1 JTDB参加施設名(全221施設 順不同) 2013年3月

- 
- 手稲溪仁会病院
北海道大学病院
社会医療法人北斗 北斗病院
(独)国立病院機構 北海道医療センター
市立札幌病院
日鋼記念病院
札幌医科大学附属病院
弘前大学医学部附属病院
青森県立中央病院
八戸市立市民病院
岩手医科大学
岩手県久慈病院
大崎市民病院
東北大学病院
仙台市立病院
石巻赤十字病院
(独)国立病院機構 仙台医療センター
秋田赤十字病院
福島県立医科大学
太田西ノ内病院
会津中央病院
新潟市民病院
新潟大学歯学総合病院高次救命災害治療センター
茨城西南医療センター病院
(独)国立病院機構 水戸医療センター
筑波大学附属病院
筑波メディカルセンター病院
獨協医科大学病院救命救急センター
自治医科大学
栃木県済生会宇都宮病院
群馬大学医学部附属病院
前橋赤十字病院
高崎総合医療センター
富士重工業健康保険組合 太田記念病院
さいたま赤十字病院
埼玉医科大学国際医療センター
久喜総合病院
川口市立医療センター
獨協医科大学越谷病院
防衛医科大学校病院
埼玉医科大学総合医療センター
船橋市立医療センター
順天堂浦安病院
国保旭中央病院
日本医科大学千葉北総病院
千葉大学医学部附属病院
千葉県救急医療センター
松戸市立病院
亀田総合病院
国保直営総合病院君津中央病院
昭和大学病院
(独)国立病院機構 東京医療センター
日本大学医学部社会医学講座
(独)国立病院機構 災害医療センター
都立広尾病院救命救急センター
武蔵野赤十字病院
日本医科大学多摩永山病院
東京医科大学
東京医科大学八王子医療センター
慶應大学病院
聖路加国際病院
帝京大学
東邦大学医療センター大森病院
(独)国立国際医療研究センター
東京大学医学部附属病院
公立昭和病院
東京女子医科大学東医療センター
日本医科大学付属病院
杏林大学医学部附属病院
駿河台日本大学病院
東京女子医科大学
青梅市立総合病院
日本大学医学部附属板橋病院
東京医科歯科大学医学部附属病院
東京都立墨東病院
昭和大学横浜市北部病院
(独)国立病院機構 横浜医療センター
日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター
済生会横浜市東部病院救命救急センター
聖マリアンナ医科大学
湘南鎌倉総合病院
横浜市立市民病院
小田原市立病院
横須賀共済病院
平塚市民病院
藤沢市民病院救命救急センター
関東労災病院
横浜労災病院
横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター
東海大学医学部附属病院
昭和大学藤が丘病院
北里大学病院
横須賀市立うまち病院
横浜市立みなと赤十字病院
厚生連 高岡病院
市立砺波総合病院
富山県立中央病院
富山大学附属病院
金沢大学附属病院
福井県立病院
福井大学医学部附属病院
山梨県立中央病院
社会医療法人財団慈泉会 相澤病院
諏訪赤十字病院
飯田市立病院
伊那中央病院
佐久総合病院
信州大学医学部附属病院
高山赤十字病院
大垣市民病院
下呂市立金山病院
JA岐阜厚生連中濃病院
岐阜大学医学部附属病院
沼津市立病院
静岡赤十字病院
静岡県立こども病院
静岡済生会総合病院
順天堂大学医学部附属静岡病院
聖隷三方ヶ原病院
豊橋市民病院
総合大雄会病院
藤田保健衛生大学
名古屋市立大学病院
半田市立半田病院
愛知医科大学医学部附属病院
名古屋掖済会病院
社会保険中京病院
岡崎市民病院
三重大学医学部附属病院
近江八幡市立総合医療センター
済生会滋賀県病院
京都第二赤十字病院
(独)国立病院機構 京都医療センター
洛和会音羽病院
市立福知山市市民病院地域救命救急センター
京都第一赤十字病院
大阪府泉州救命救急センター
大阪府済生会千里救命救急センター
大阪府立急性期・総合医療センター
阪和記念病院
(独)国立病院機構 大阪医療センター
大阪府立中河内救命救急センター
大阪府三島救命救急センター
近畿大学医学部附属病院
岸和田徳洲会病院
大阪大学医学部附属病院
大阪市立総合医療センター
関西医科大学附属滝井病院
大阪市立大学医学部附属病院
兵庫県立西宮病院
兵庫県立加古川医療センター
兵庫県立淡路病院
兵庫医科大学病院
神戸市立医療センター中央市民病院
神戸大学医学部附属病院
兵庫県災害医療センター
公立豊岡病院但馬救命救急センター
公立村岡病院
関西労災病院
奈良県立奈良病院
奈良県立医科大学
和歌山県立医科大学附属病院
鳥取大学医学部附属病院
津山中央病院救命救急センター
川崎医科大学附属病院
倉敷中央病院
岡山大学病院
広島大学病院
(独)国立病院機構 呉医療センター中国がんセンター
福山市市民病院
県立広島病院
中国労災病院
(独)国立病院機構 関門医療センター
徳山中央病院
山口県立総合医療センター
山口大学医学部附属病院
徳島県立海部病院
徳島県立中央病院
香川大学医学部附属病院
愛媛県立中央病院
愛媛大学医学部附属病院救急部
高知医療センター
社会医療法人近森会 近森病院ER
久留米大学病院高度救命救急センター
飯塚病院
健和会大手町病院
北九州市立八幡病院
九州大学病院
北九州総合病院
小倉記念病院
福岡和白病院
福岡赤十字病院
(独)国立病院機構 福岡東医療センター
済生会福岡総合病院
福岡大学病院
雪ノ聖母会聖マリア病院
佐賀大学医学部附属病院
佐賀県立病院好生館外傷センター
(独)国立病院機構 嬉野医療センター
長崎大学病院
(独)国立病院機構 長崎医療センター
荒尾市民病院
熊本赤十字病院
熊本医療センター
社会福祉法人 恩賜財団 済生会熊本病院
大分大学医学部附属病院
県立宮崎病院
宮崎大学医学部附属病院
宮崎善仁会病院
都城市郡医師会病院
愛心会 大隅鹿屋病院
鹿児島市立病院
沖縄県立中部病院
沖縄県立北部病院
琉球大学医学部附属病院
浦添総合病院
敬愛会中頭病院

施設数

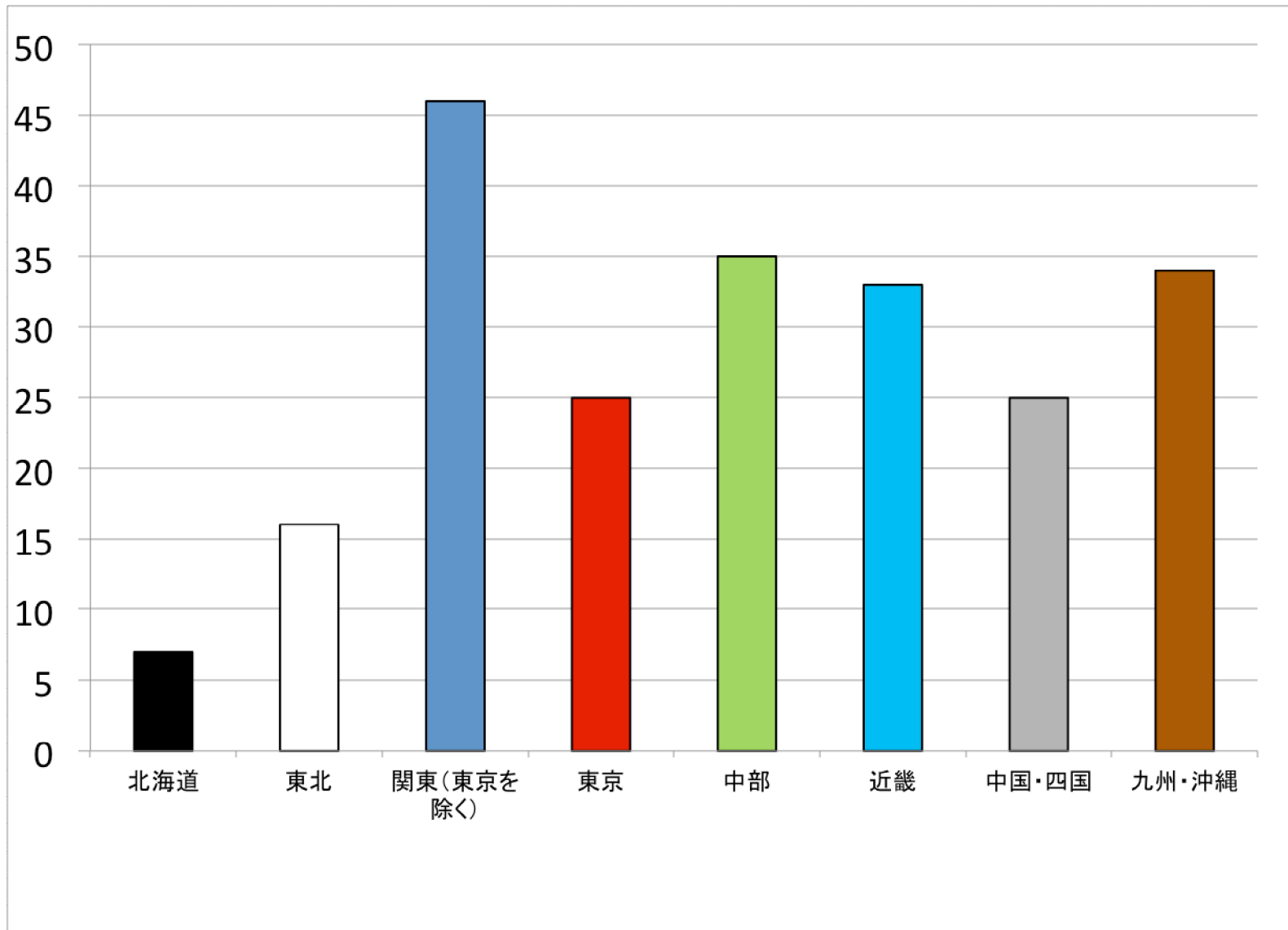


図2 地方別の参加施設数

患者数
(名)

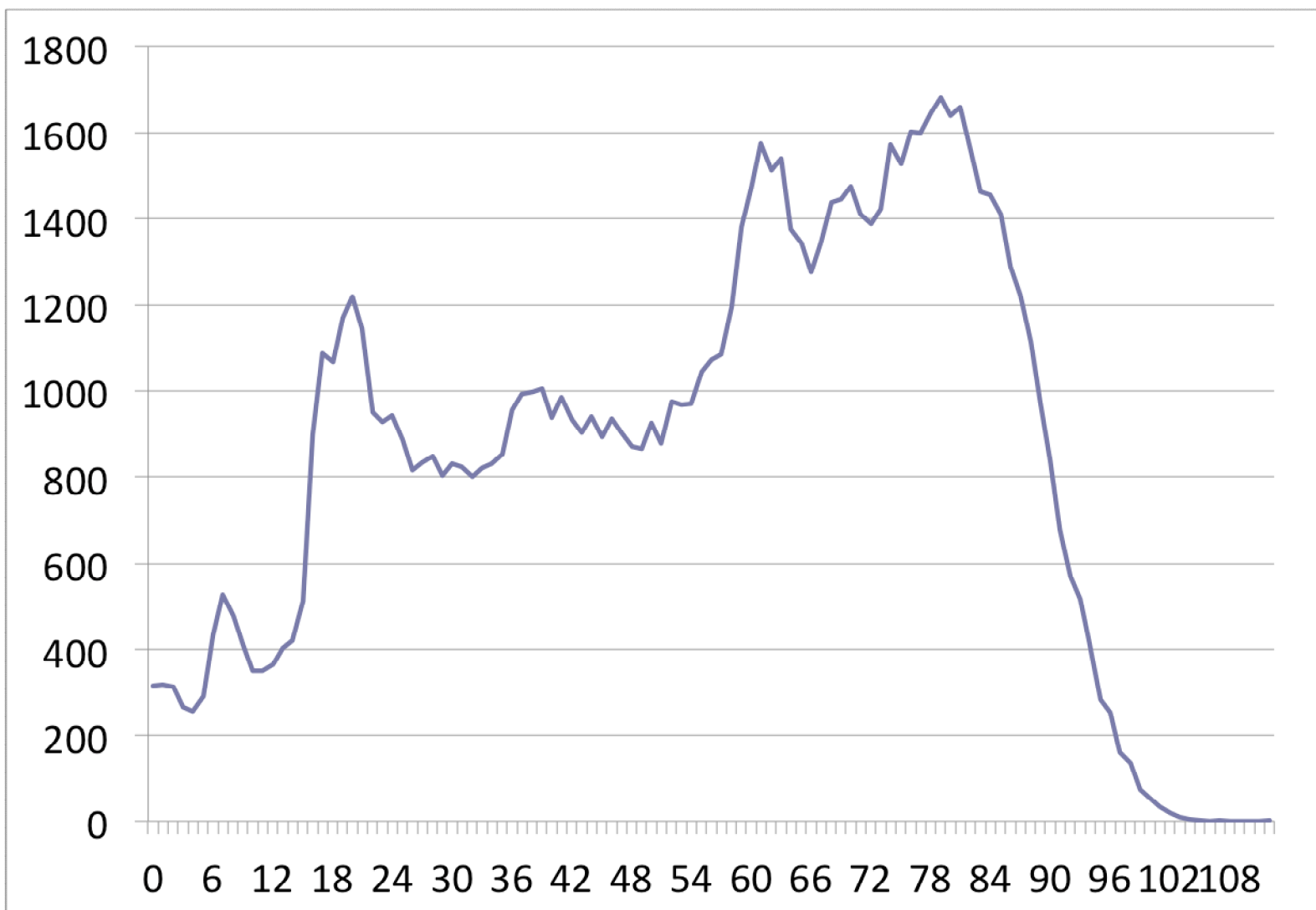


図3 全症例年齢分布

年齢(歳)

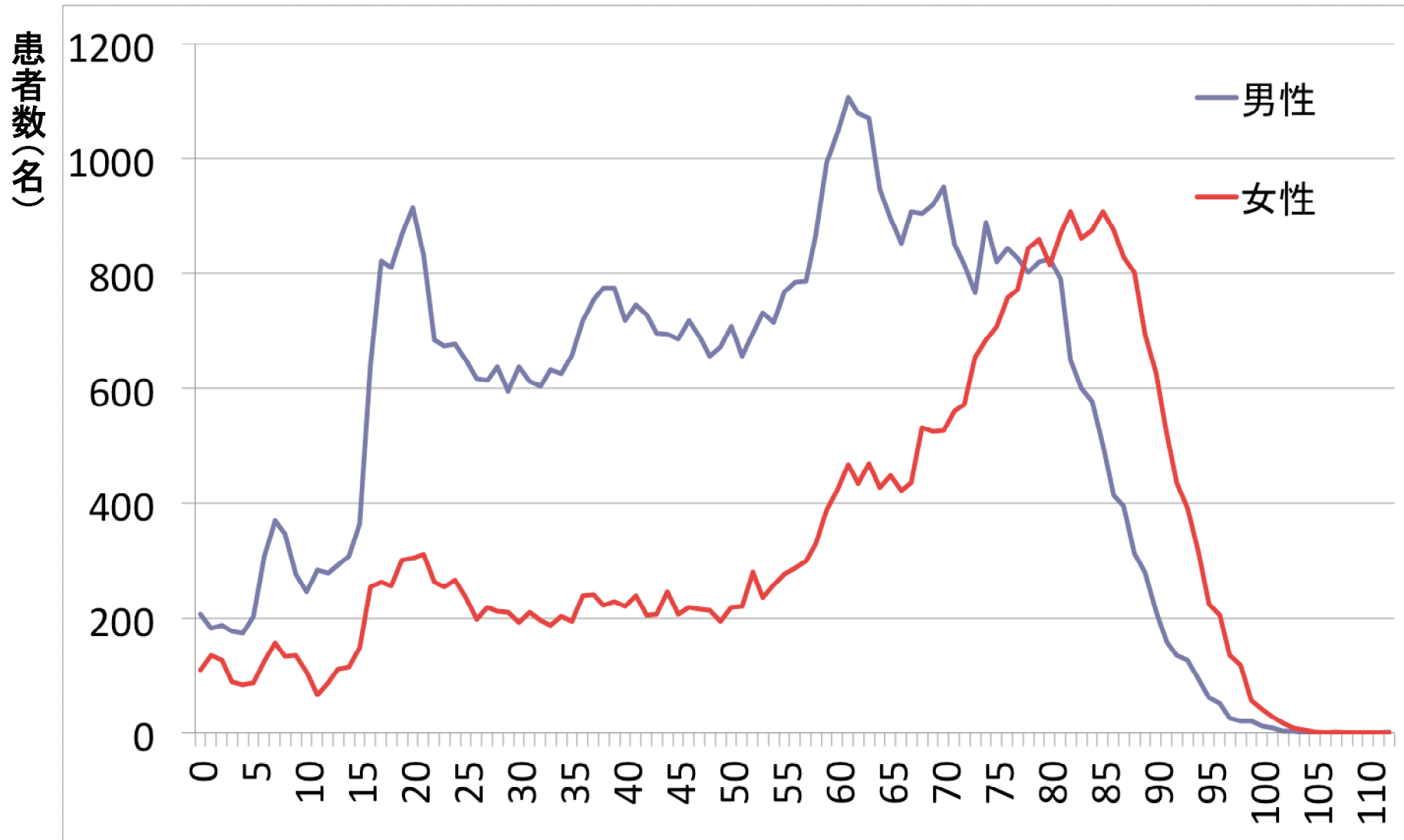


図4 性別年齢分布

年齢(歳)

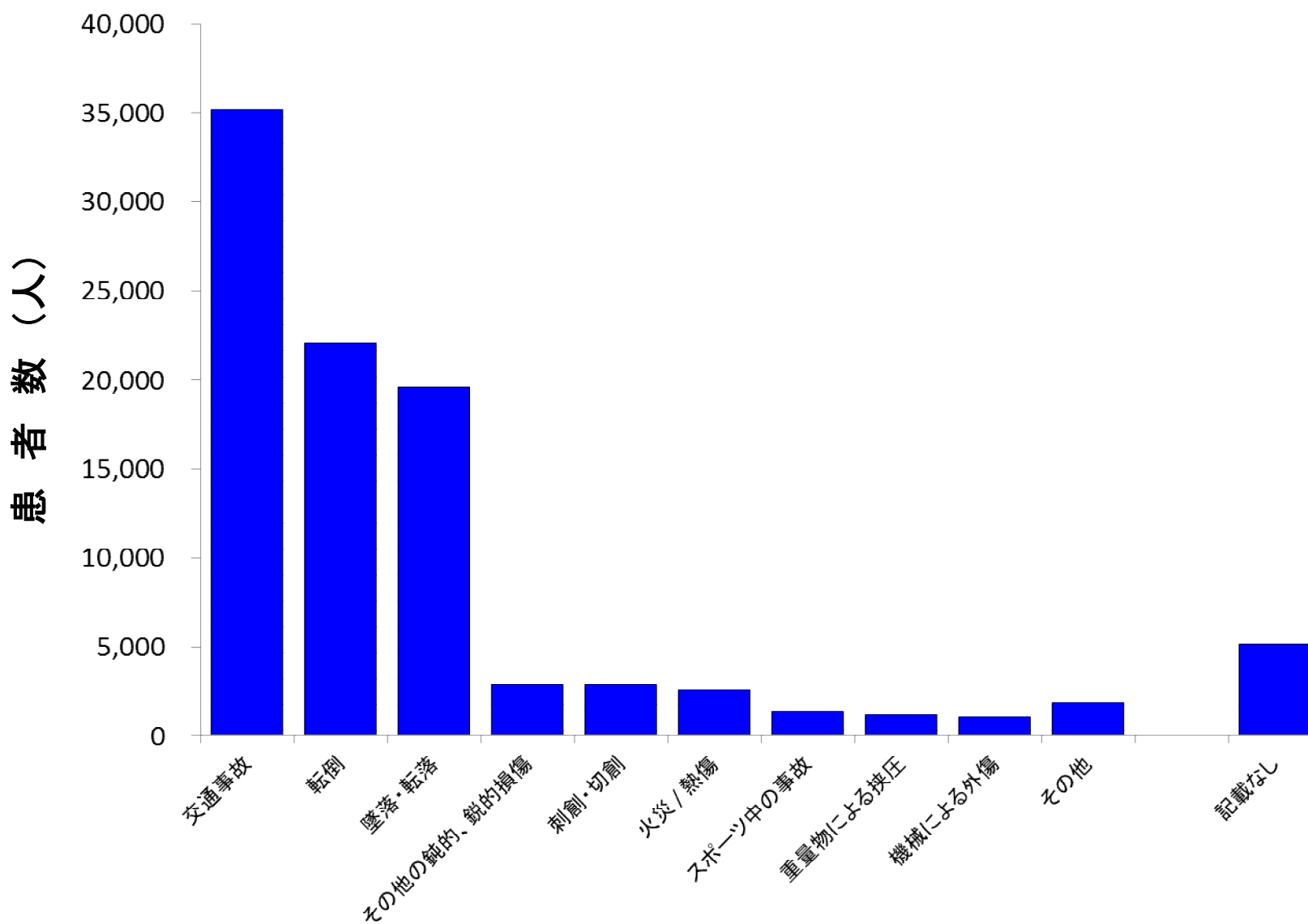


図5 受傷機転別の患者数

Japan Trauma Data Bank Report 2008-2012

受傷機転	患者数（人）	受傷機転別患者数の割合(%)
交通事故	35220	36.72
転倒	22090	23.03
墜落・転落	19643	20.48
その他の鈍的、鋭的損傷	2864	2.99
刺創・切創	2849	2.97
火災 / 熱傷	2600	2.71
スポーツ中の事故	1361	1.42
重量物による挟圧	1176	1.23
機械による外傷	1081	1.13
その他の車両事故	863	0.90
落下物、飛来物	703	0.73
爆発	187	0.19
杵創（刺杭創）	82	0.09
銃創	41	0.04
記載なし	5164	5.38
計	95924	100.00

表5 受傷機転別の患者数の割合

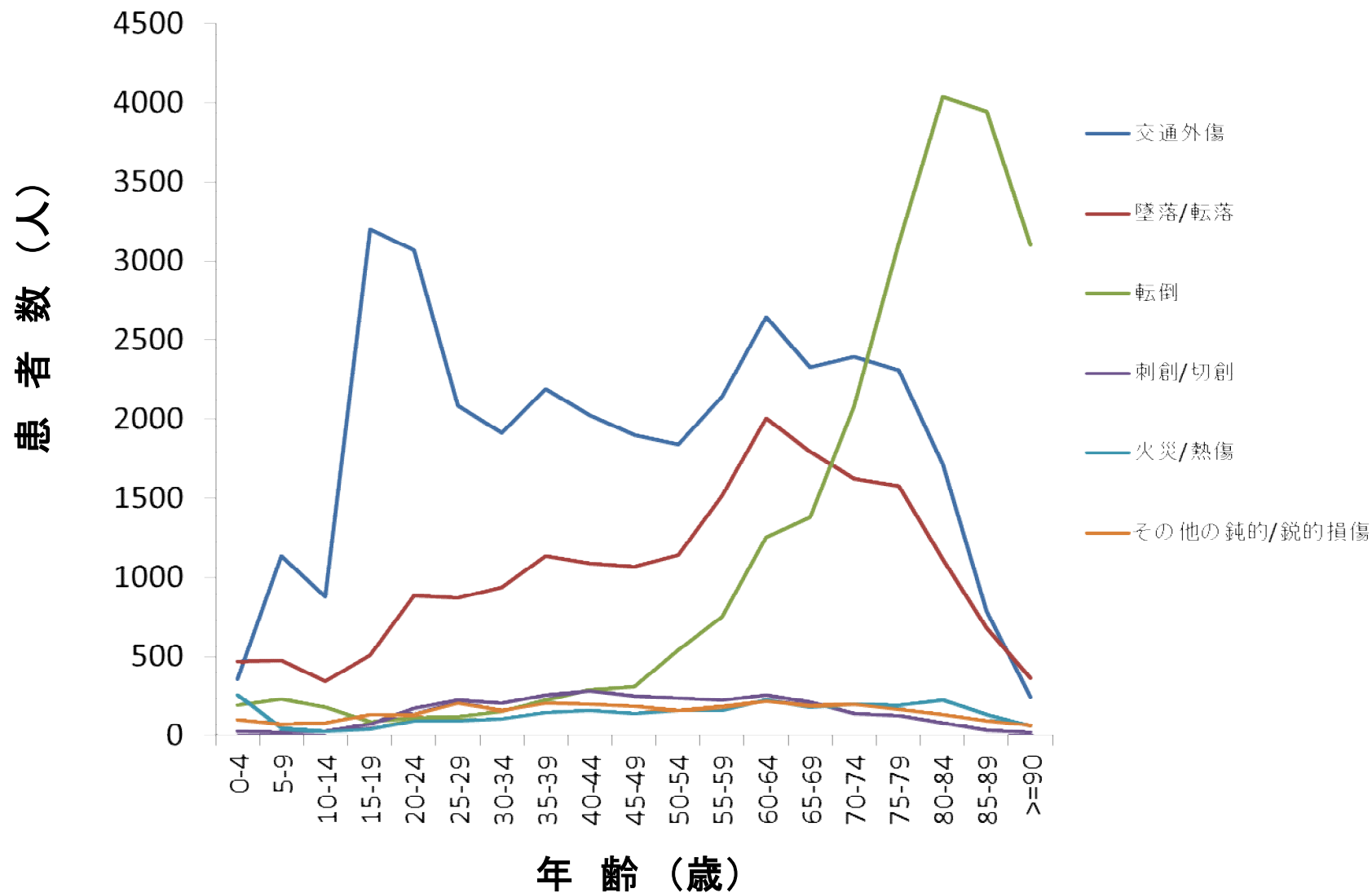


図6 受傷機転別患者数の年齢分布

Japan Trauma Data Bank Report 2008-2012

年齢範囲 (歳)	交通外傷 (人)	年齢層別 割合(%)	墜落/転落 (人)	年齢層別 割合(%)	転倒(人)	年齢層別 割合(%)	刺創/切創 (人)	年齢層別 割合(%)	火災/熱傷 (人)	年齢層別 割合(%)	その他の鈍 的鋭的損傷 (人)	年齢層別 割合(%)
0-4	353	1.00	464	2.36	187	0.85	24	0.84	256	9.85	97	3.39
5-9	1133	3.22	477	2.43	233	1.05	19	0.67	42	1.62	74	2.58
10-14	878	2.49	343	1.75	176	0.80	27	0.95	22	0.85	79	2.76
15-19	3197	9.08	509	2.59	84	0.38	74	2.60	41	1.58	134	4.68
20-24	3068	8.71	882	4.49	109	0.49	172	6.04	93	3.58	132	4.61
25-29	2084	5.92	869	4.42	116	0.53	220	7.72	92	3.54	204	7.12
30-34	1913	5.43	936	4.77	149	0.67	203	7.13	102	3.92	158	5.52
35-39	2186	6.21	1133	5.77	225	1.02	253	8.88	144	5.54	202	7.05
40-44	2027	5.76	1090	5.55	286	1.29	283	9.93	154	5.92	195	6.81
45-49	1897	5.39	1067	5.43	307	1.39	252	8.85	140	5.38	186	6.49
50-54	1841	5.23	1138	5.79	537	2.43	237	8.32	157	6.04	154	5.38
55-59	2146	6.09	1518	7.73	752	3.40	226	7.93	158	6.08	186	6.49
60-64	2646	7.51	2003	10.20	1253	5.67	253	8.88	220	8.46	214	7.47
65-69	2328	6.61	1795	9.14	1381	6.25	207	7.27	174	6.69	193	6.74
70-74	2395	6.80	1622	8.26	2074	9.39	140	4.91	196	7.54	195	6.81
75-79	2311	6.56	1575	8.02	3115	14.10	123	4.32	189	7.27	166	5.80
80-84	1712	4.86	1116	5.68	4038	18.28	78	2.74	225	8.65	131	4.57
85-89	787	2.23	679	3.46	3943	17.85	31	1.09	133	5.12	88	3.07
>=90	246	0.70	362	1.84	3103	14.05	17	0.60	56	2.15	67	2.34
記載なし	72	0.20	65	0.33	22	0.10	10	0.35	6	0.23	9	0.31
計	35220	100	19643	100	22090	100	2849	100	2600	100	2864	100

表6 受傷機転別の年齢層別分布

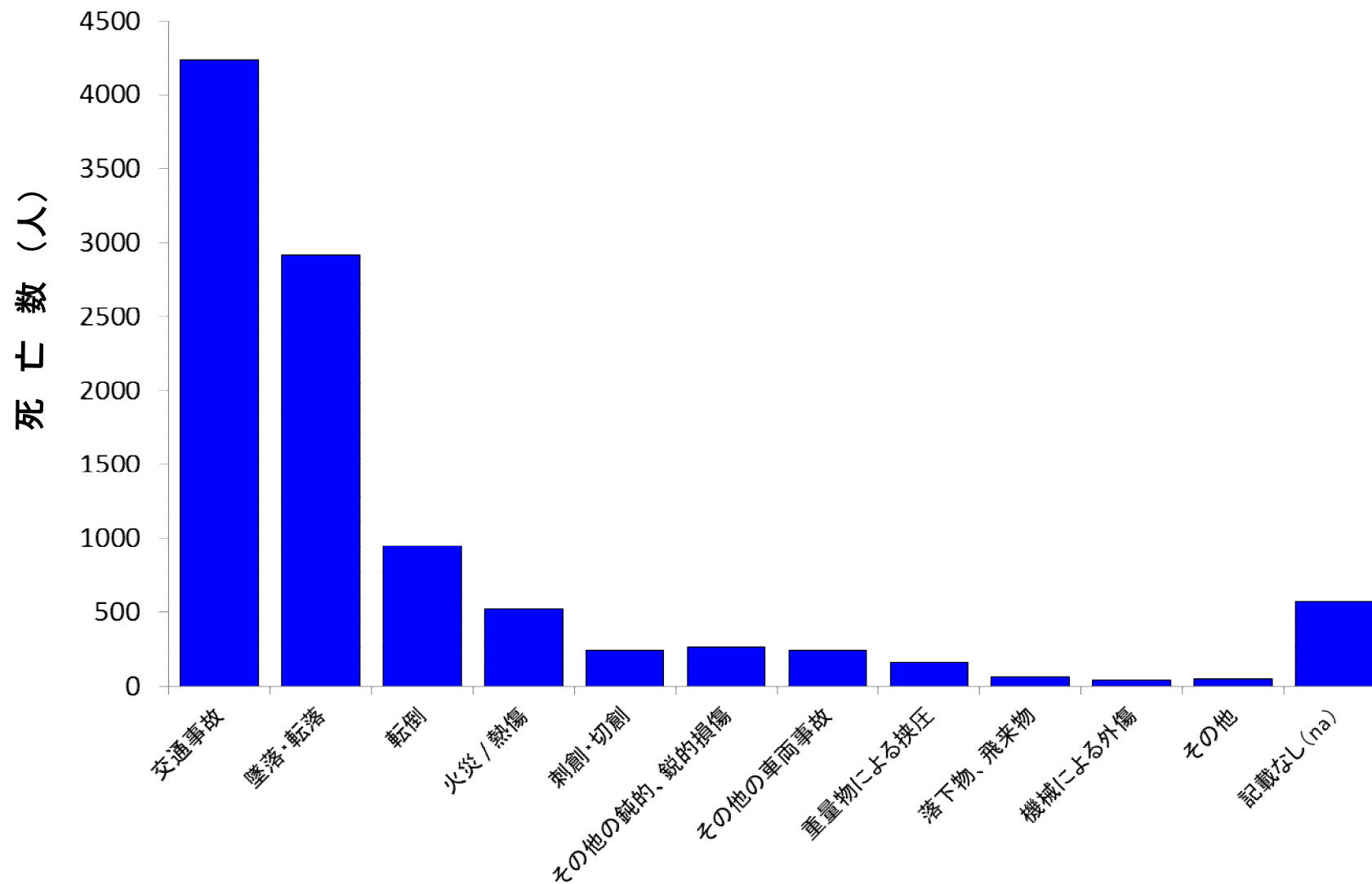


図7 受傷機転別の死亡数

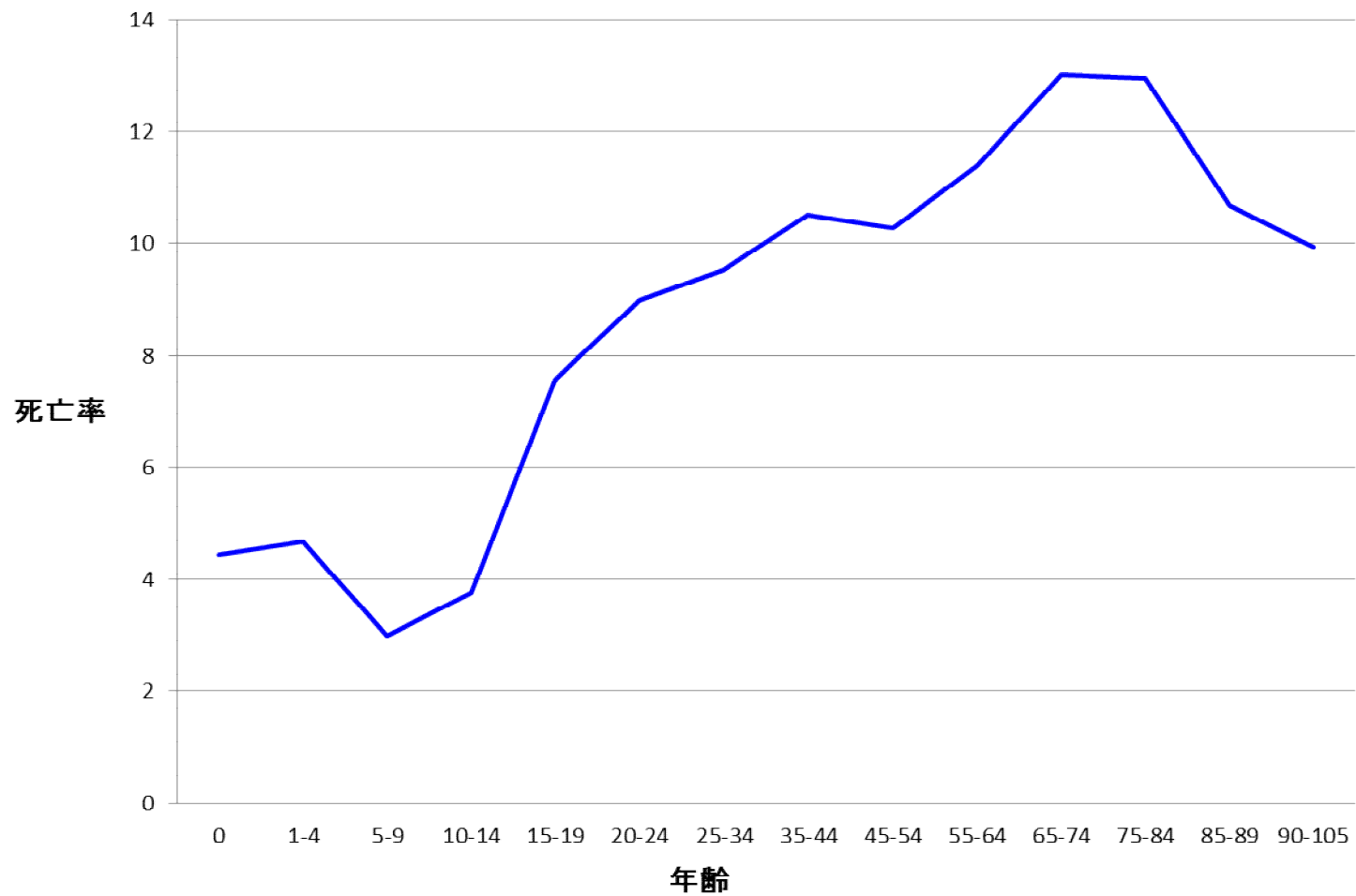


図8 年齢別の死亡率

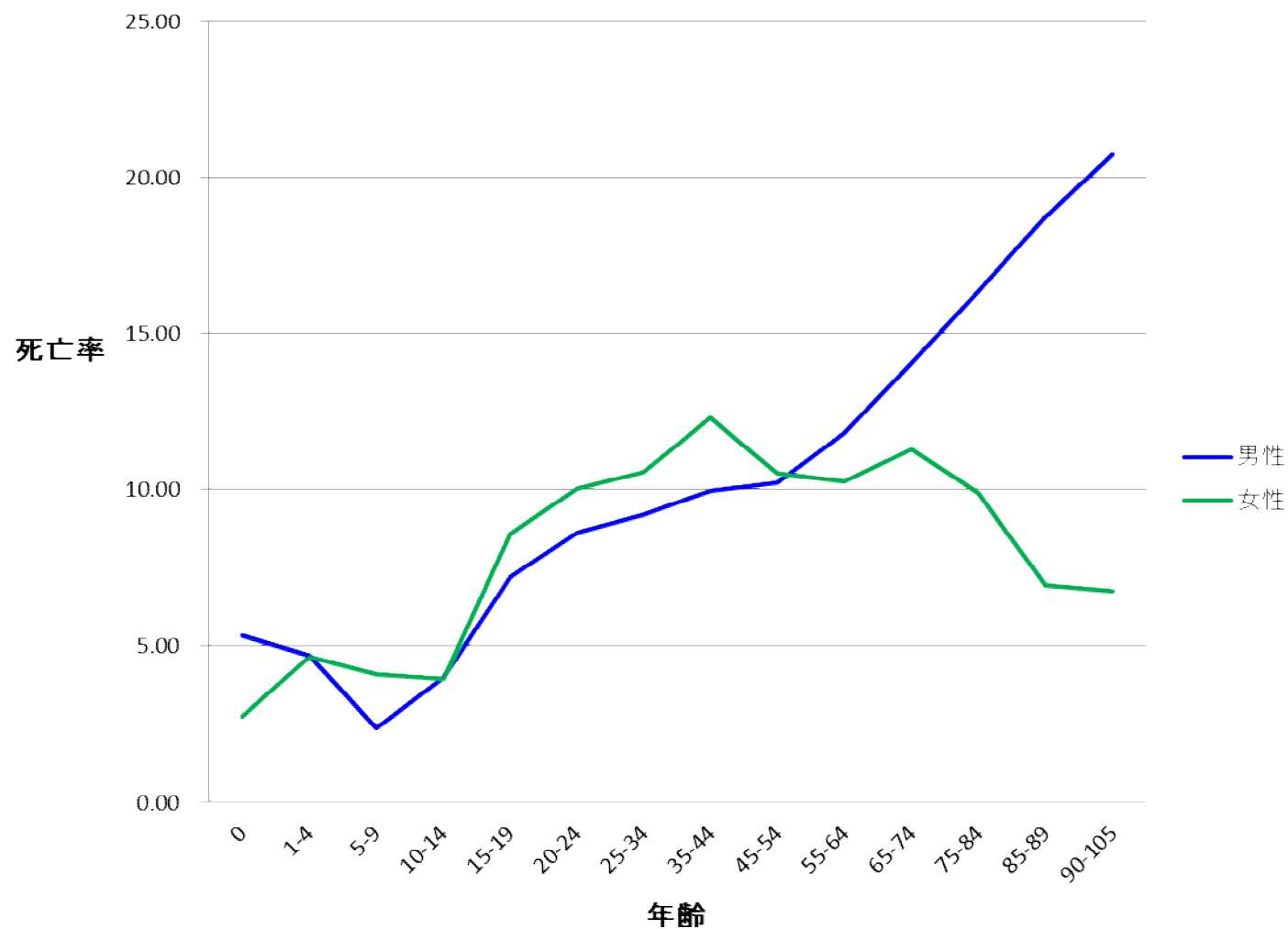


図9 性別と年齢別の患者死亡率

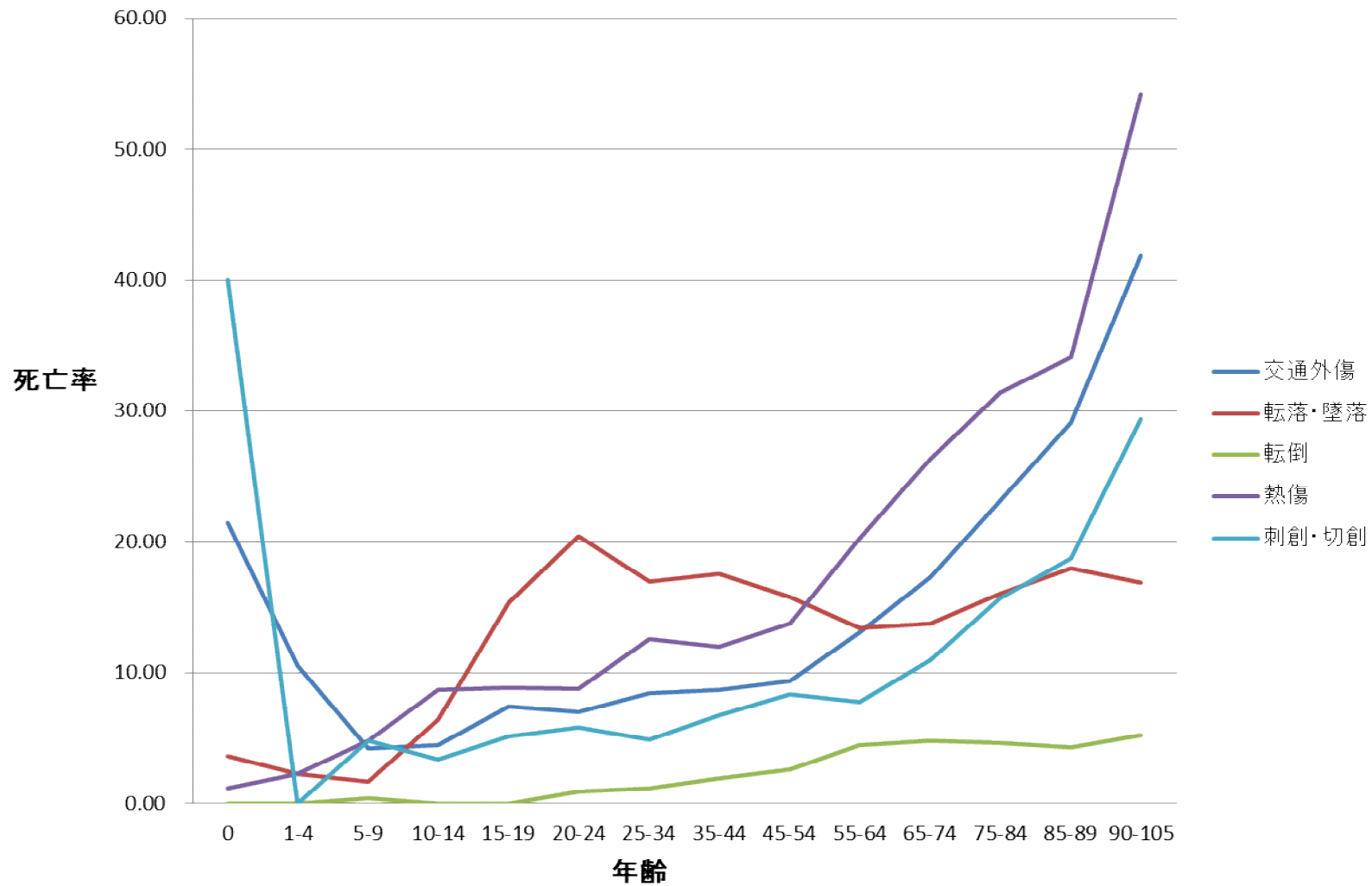
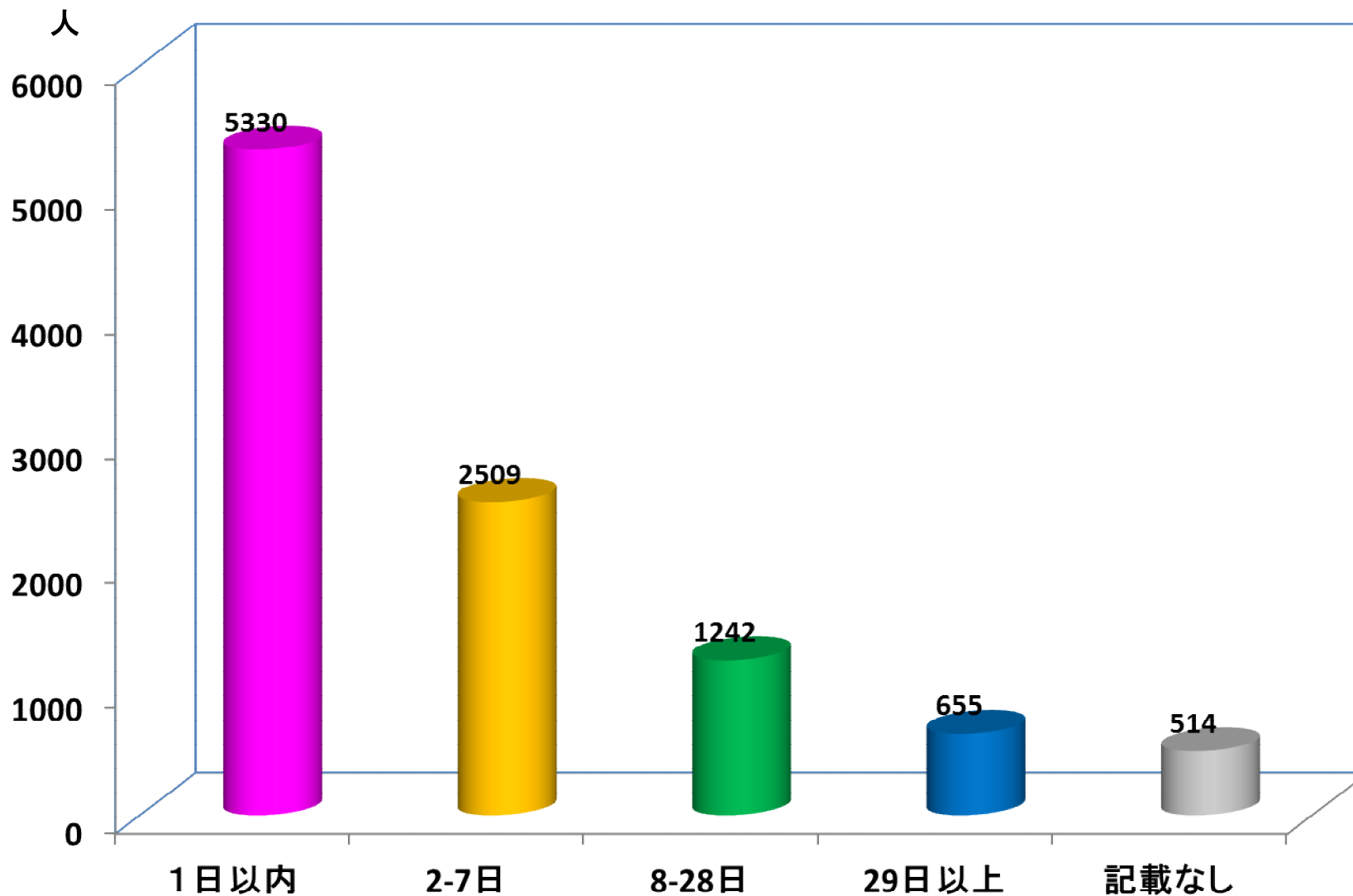


図10 受傷機転と年齢別の患者死亡率



「1日以内」には、心肺停止症例と初療室での死亡を含む。

図11A 受傷から死亡までの入院期間と症例数 n =10,250

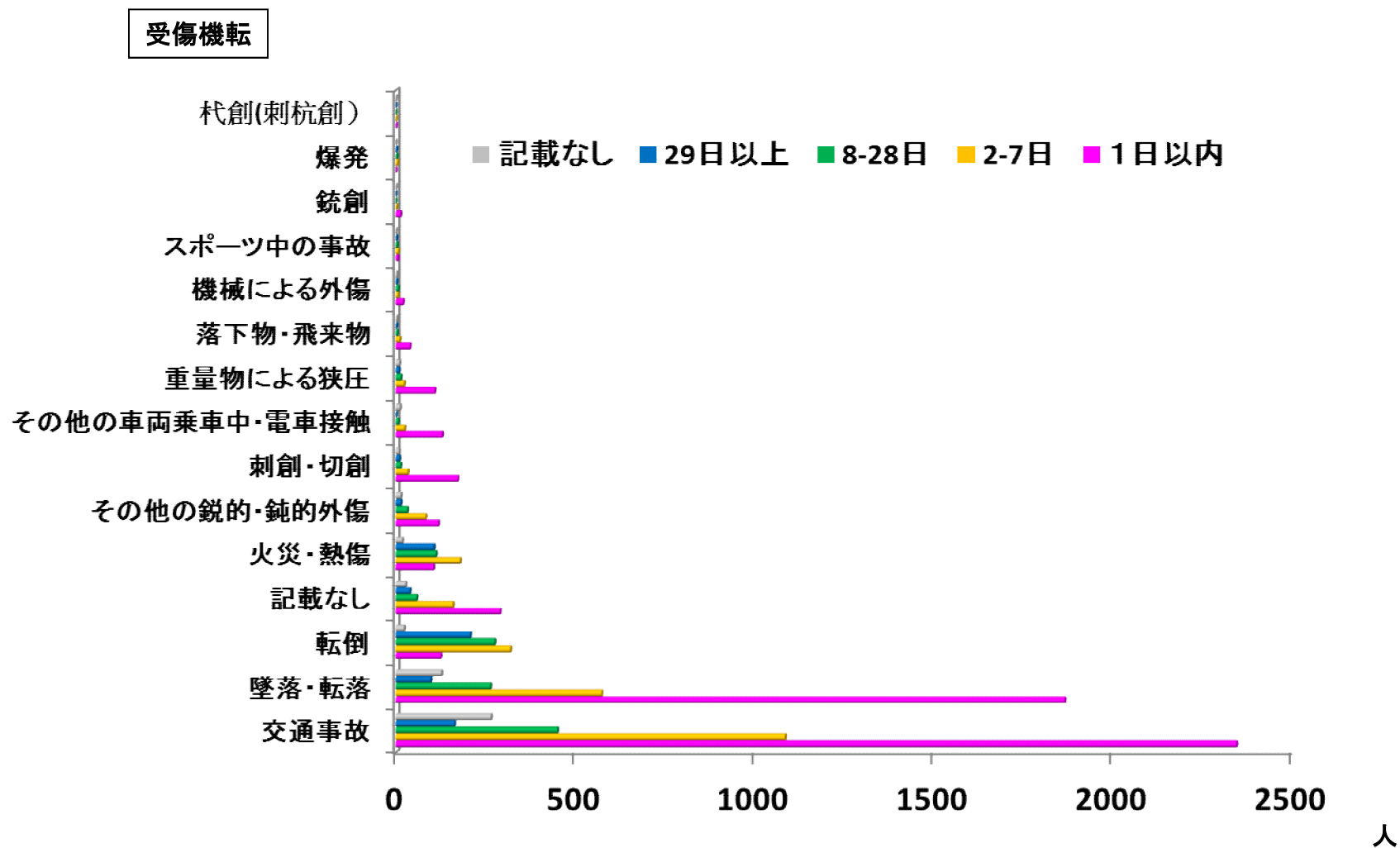


図11B 受傷機別の「受傷から死亡までの日数」の症例分布 n = 10,250

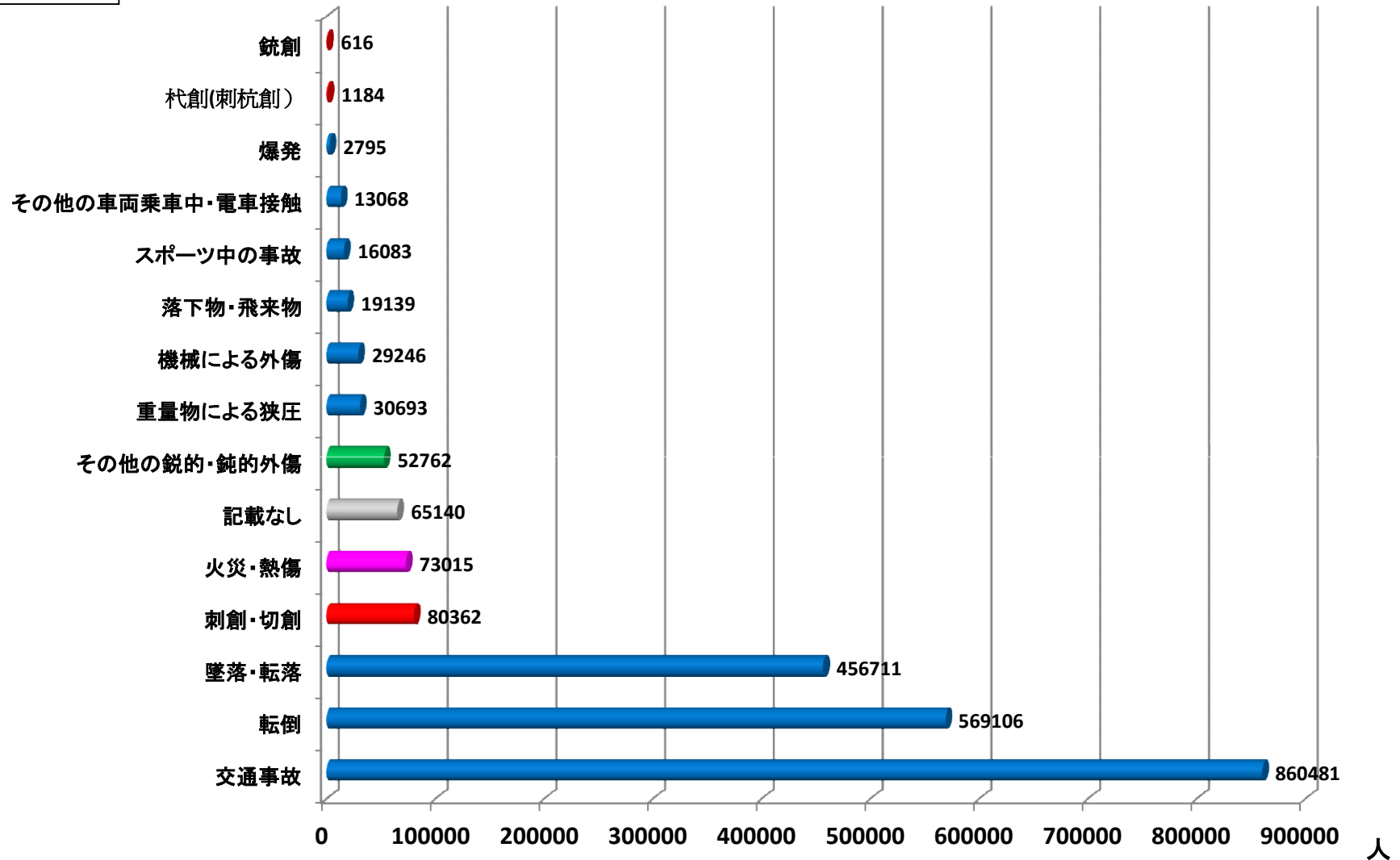
Japan Trauma Data Bank Report 2008-2012

	交通事故	墜落・転落	転倒	記載なし	火災・熱傷	その他の 銃的・銃的外傷	刺創・切創	その他の車両乗 車中・電車接触
1日以内	2341	1863	125	290	105	118	172	129
2-7日	1084	573	319	159	179	83	33	24
8-28日	450	263	275	58	112	32	13	7
29日以上	163	97	207	39	106	14	10	1
記載なし	265	127	23	27	18	14	9	12
計	4303	2923	949	573	520	261	237	173

	重量物による 狭圧	落下物・飛来物	機械による外傷	スポーツ中の 事故	銃創	爆発	杵創 (刺杭創)	計
1日以内	108	39	20	6	13	0	1	5330
2-7日	23	11	6	7	2	5	1	2509
8-28日	14	4	7	4	0	3	0	1242
29日以上	9	2	3	2	0	2	0	655
記載なし	10	3	3	1	1	0	1	514
計	164	59	39	20	16	10	3	10250

表11B 受傷転機別の「受傷から死亡までの日数」の症例分布 n = 10,250

受傷機転



症例数は85,142で、累積入院日数は2,270,401であった。

図12 受傷転機別の累積入院日数 n = 85,142

	症例数		累積入院日数	平均入院日数
交通事故	32064	37.66%	860481	26.84
転倒	20019	23.51%	569106	28.43
墜落・転落	17873	20.99%	456711	25.55
刺創・切創	2507	2.94%	80362	32.06
火災・熱傷	2306	2.71%	73015	31.66
記載なし	3245	3.81%	65140	20.07
その他の鋭的・鈍的外傷	2448	2.88%	52762	21.55
重量物による狭圧	1042	1.22%	30693	29.46
機械による外傷	912	1.07%	29246	32.07
落下物・飛来物	912	1.07%	19139	20.99
スポーツ中の事故	1168	1.37%	16083	13.77
その他の車両乗車中・電車接触	401	0.47%	13068	32.59
爆発	139	0.16%	2795	20.11
杵創(刺杭創)	73	0.09%	1184	16.22
銃創	33	0.04%	616	18.67
計	85142		2270401	26.67

表12 受傷機転別の症例数、累積入院日数、平均入院日数 n = 85,142

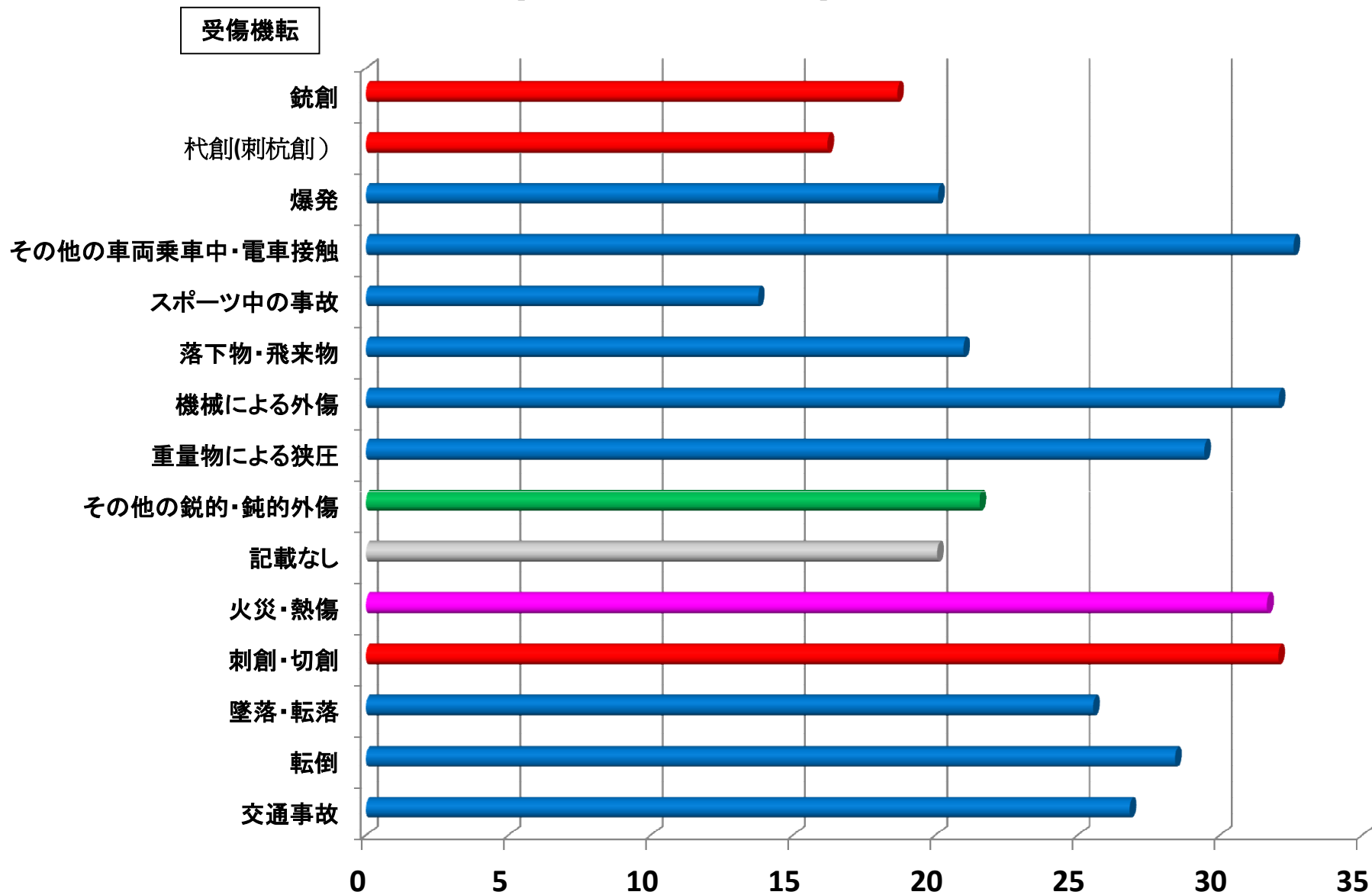


図13 受傷機転別の平均入院日数 n = 85,142

平均在院日数(日)

N = 95924

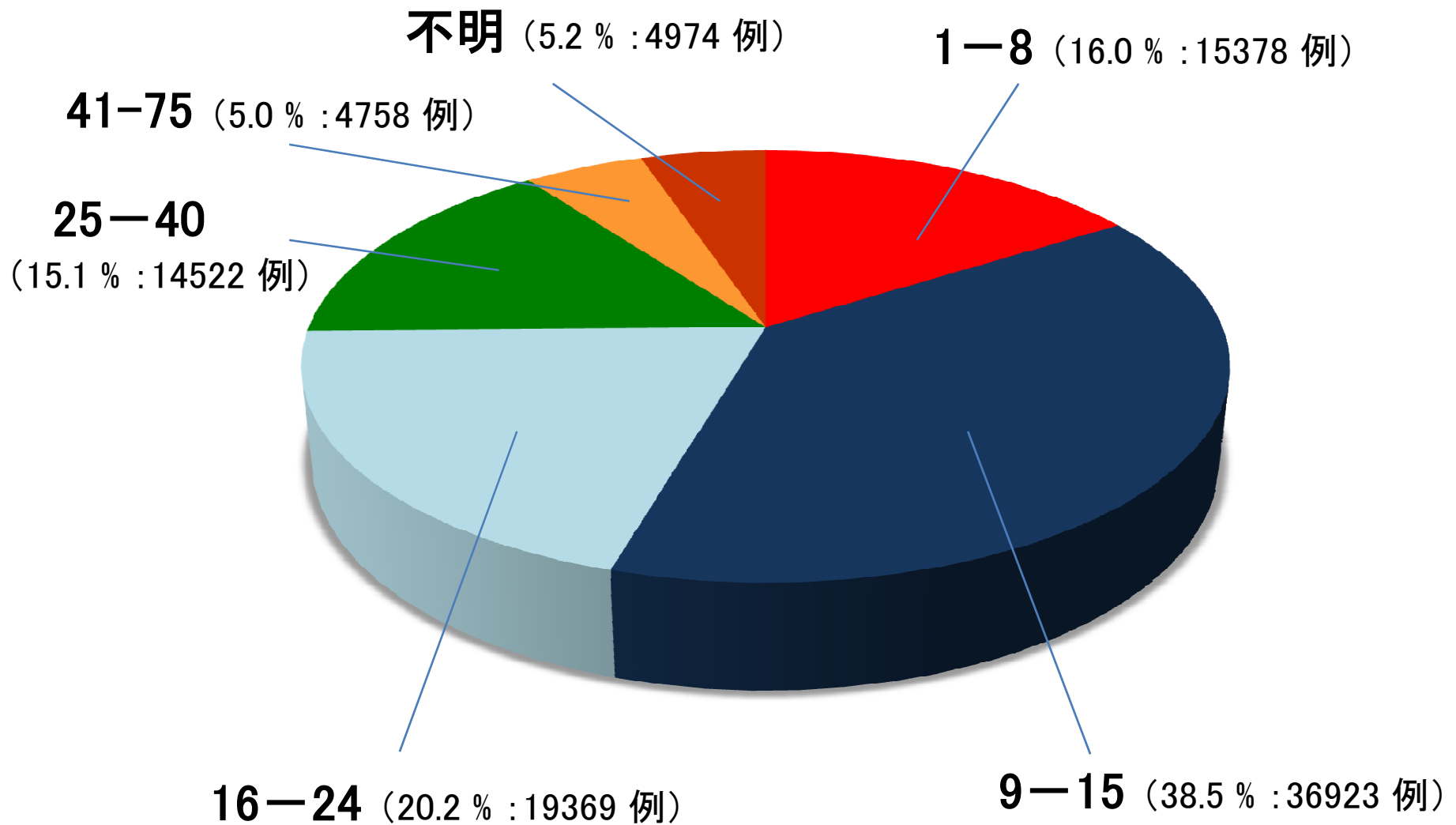


図14 ISSカテゴリー別の症例数と割合

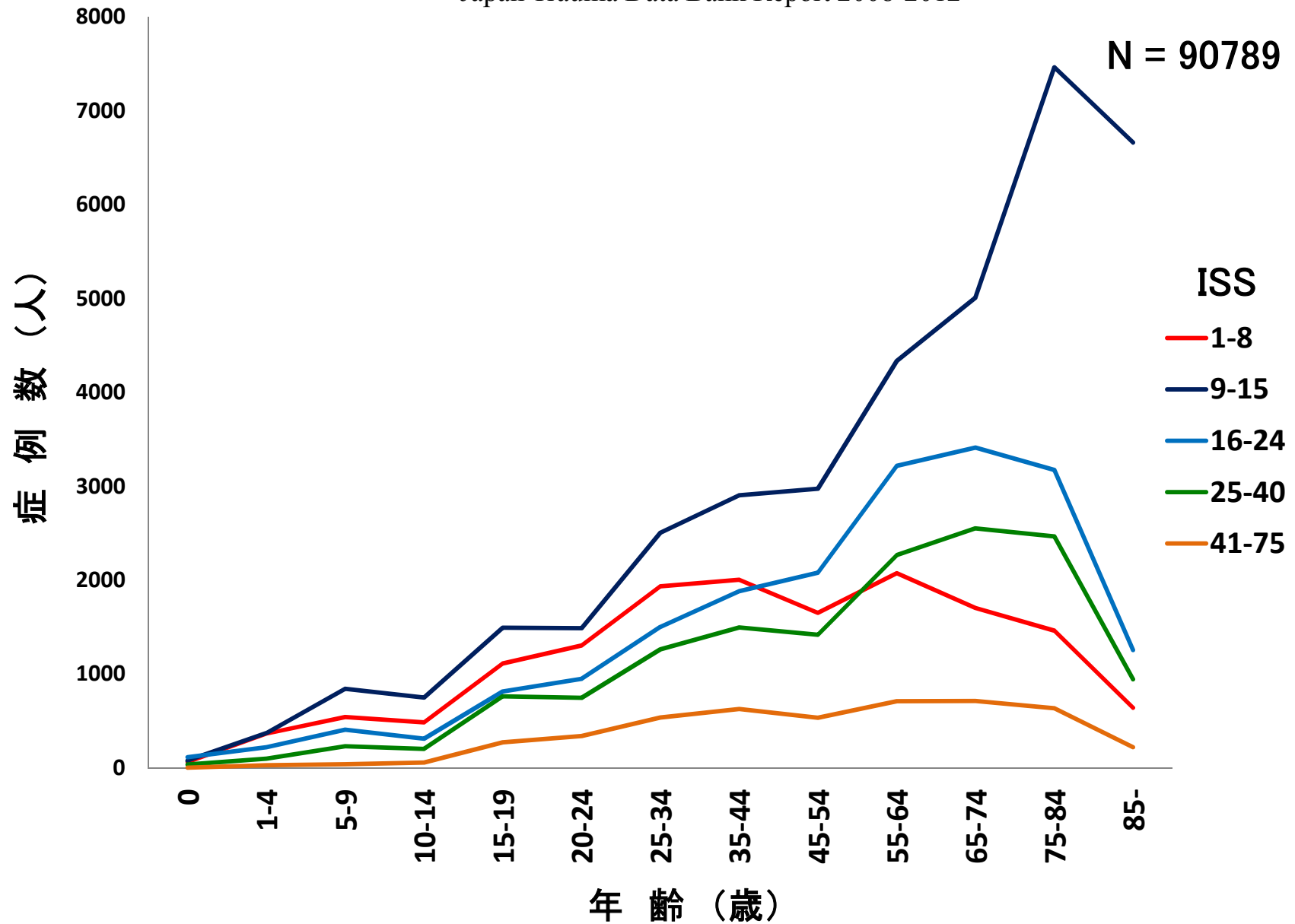


図15 ISSカテゴリー別の症例数の年齢分布

ISS \ 年齢	0	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-34	35-44	45-54	55-64	65-74	75-84	85-	不明	計
1-8	62	365	543	485	1112	1304	1934	2004	1651	2074	1704	1463	640	37	15378
9-15	79	372	844	751	1495	1489	2506	2905	2974	4335	5010	7463	6661	39	36923
16-24	115	222	408	312	815	950	1501	1883	2081	3219	3413	3173	1255	22	19369
25-40	36	99	232	203	764	747	1263	1496	1419	2266	2553	2466	945	33	14522
41-75	3	30	40	59	273	341	537	629	536	710	714	635	221	30	4758
不明	20	66	70	79	272	351	545	581	525	645	718	631	330	141	4974
計	315	1154	2137	1889	4731	5182	8286	9498	9186	13249	14112	15831	10052	302	95924

表15 ISSカテゴリ別の症例数の年齢分布

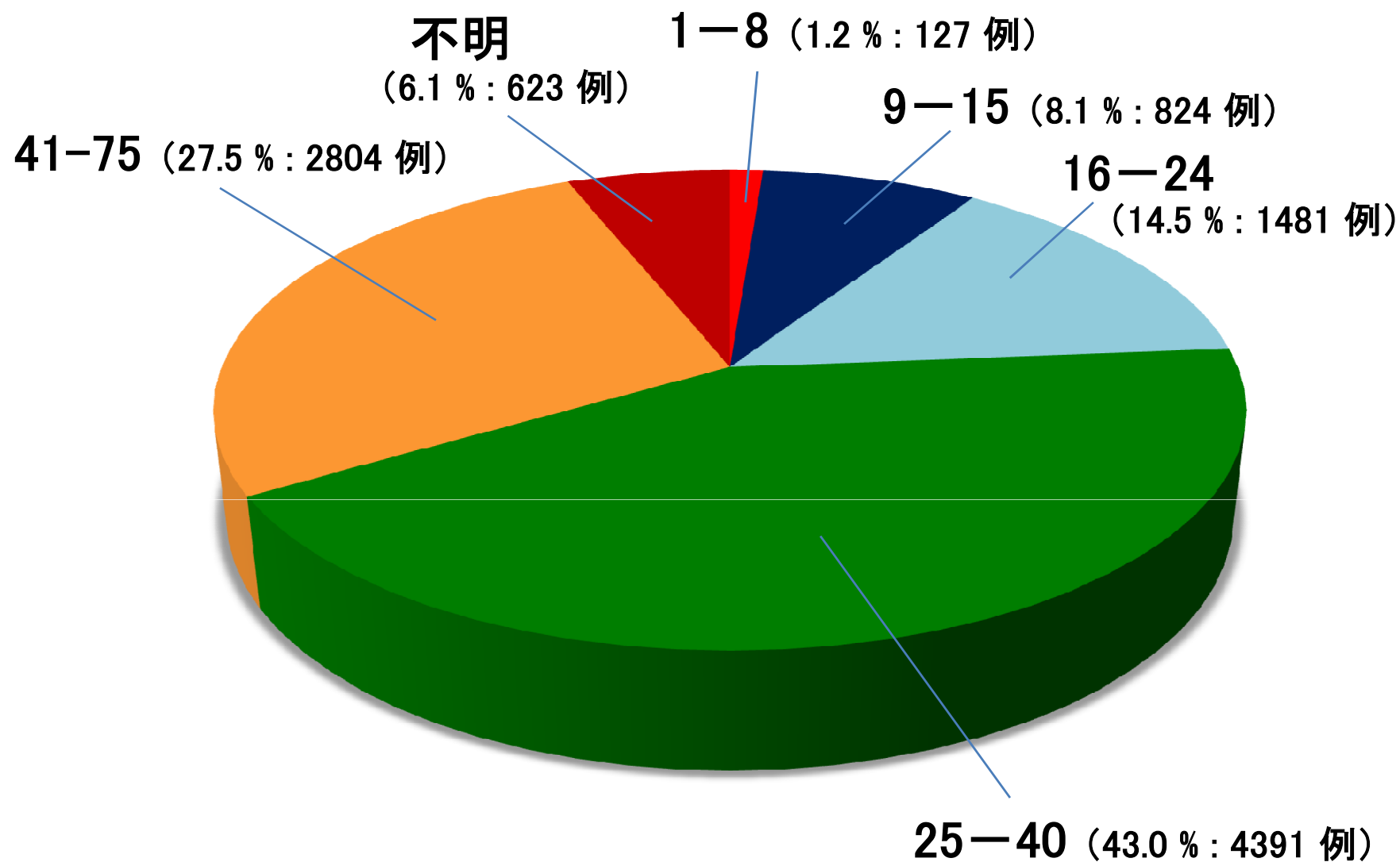


図16A ISSカテゴリー別の死亡数の割合

N = 10250

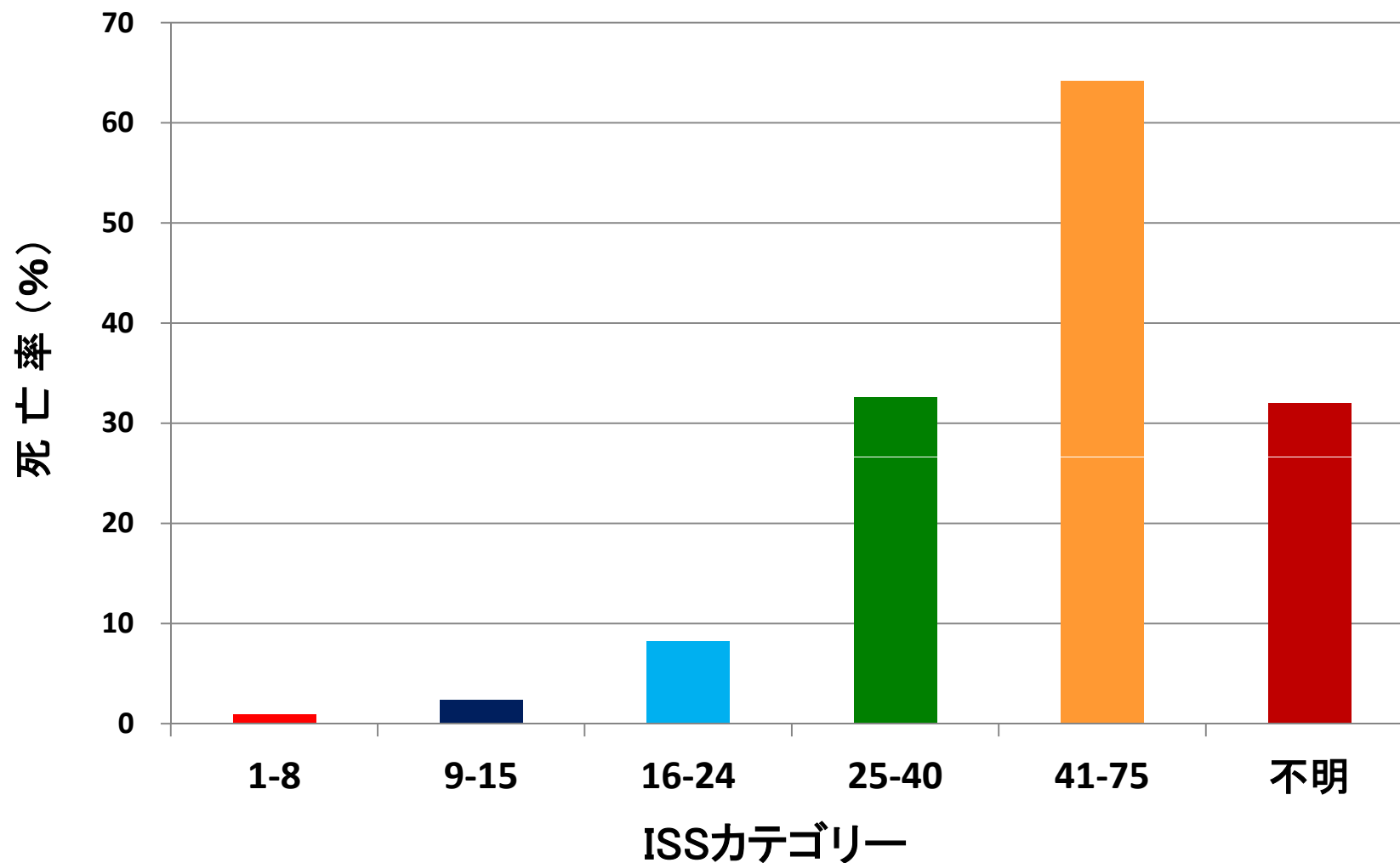


図16B ISSカテゴリー別の死亡率

N = 9588

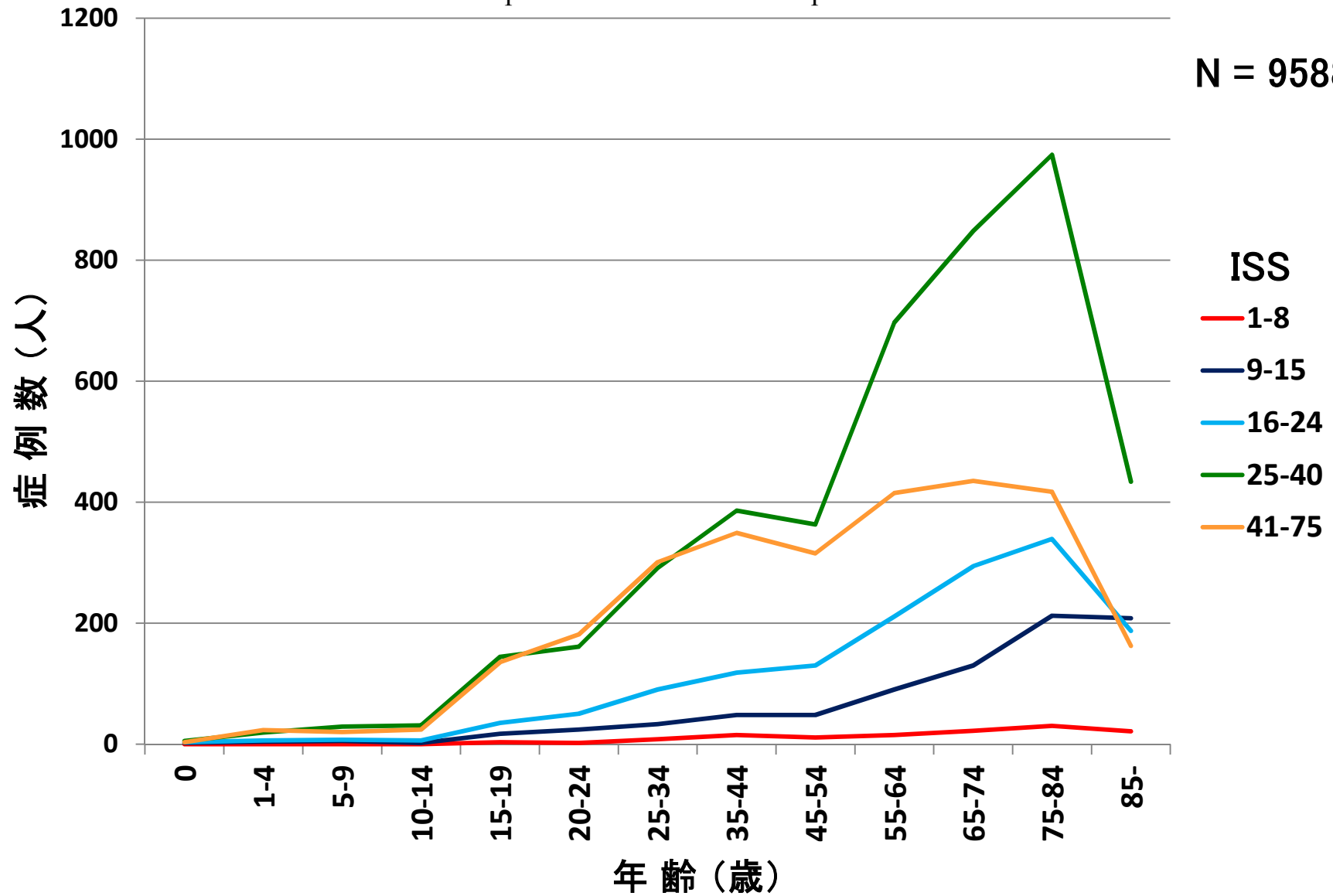


図17 ISSカテゴリー別死亡数の年齢分布

Japan Trauma Data Bank Report 2008-2012

年齢 ISS	0	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-34	35-44	45-54	55-64	65-74	75-84	85-	不明	計
1-8	0	0	0	0	3	2	8	15	11	15	22	30	21	0	127
9-15	2	4	5	2	17	24	33	48	48	90	130	212	208	1	824
16-24	3	6	7	6	35	50	90	118	130	211	294	339	187	5	1481
25-40	5	19	29	31	144	161	291	386	363	697	848	974	434	9	4391
41-75	3	23	20	24	135	181	301	349	315	415	435	417	162	24	2804
不明	1	2	3	8	24	48	67	81	77	80	107	78	32	15	623
計	14	54	64	71	358	466	790	997	944	1508	1836	2050	1044	54	10250

表17 ISSカテゴリ一別死亡数の年齢分布

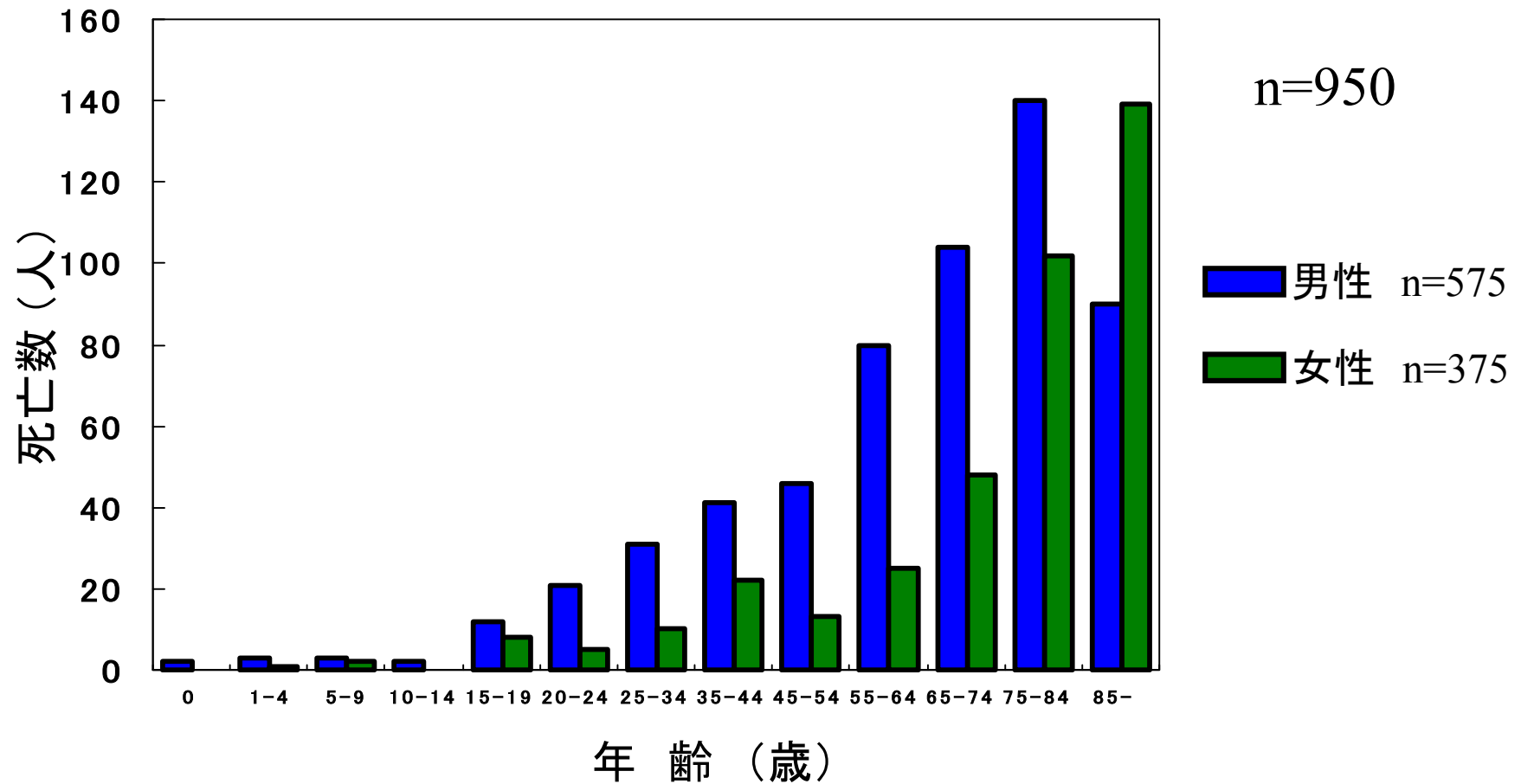


図18 ISS 15以下の死亡数の性別年齢分布

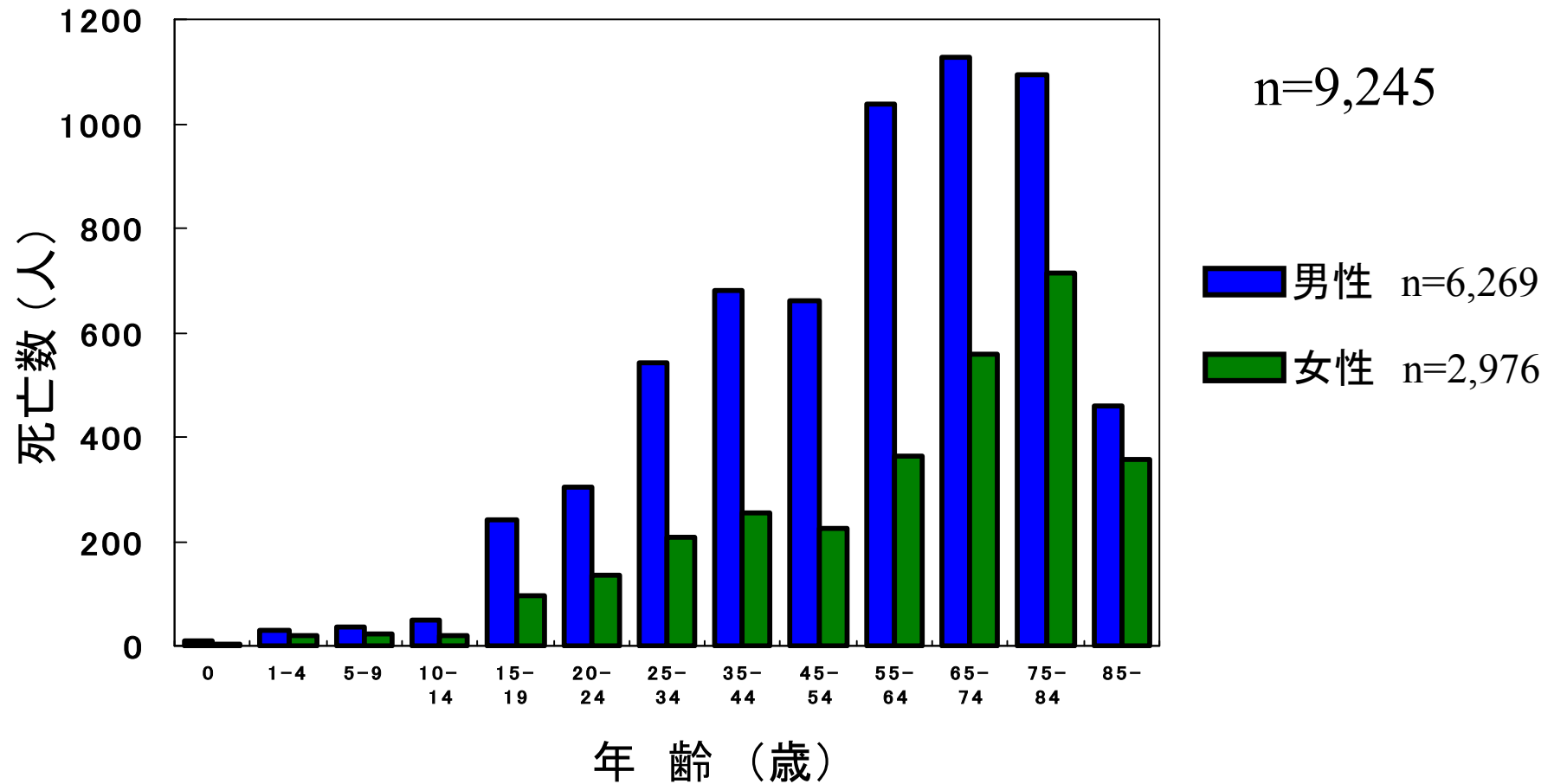


図19 ISS 16以上の死亡数の性別年齢分布

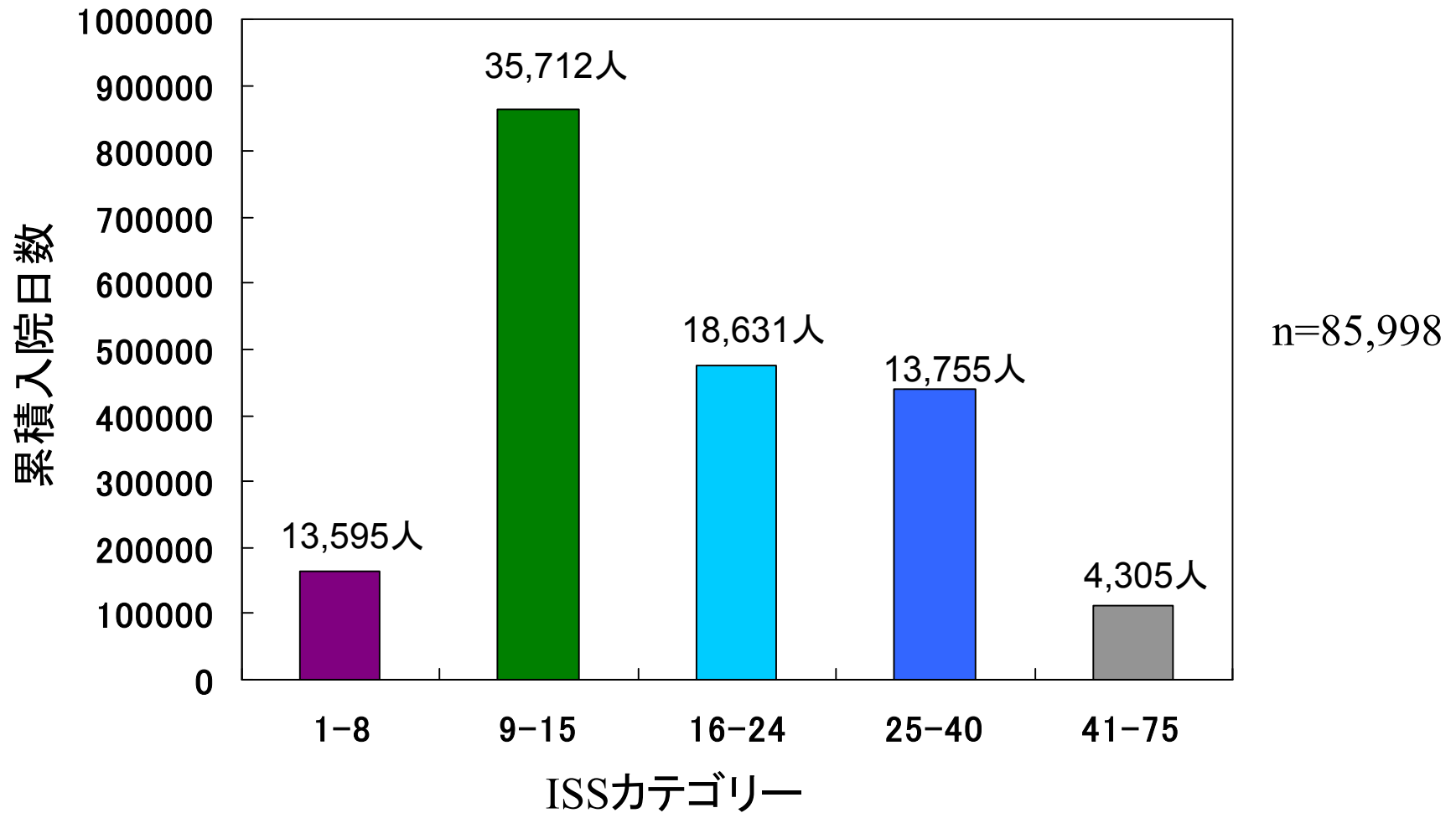


図20A ISS カテゴリー別の累積入院日数

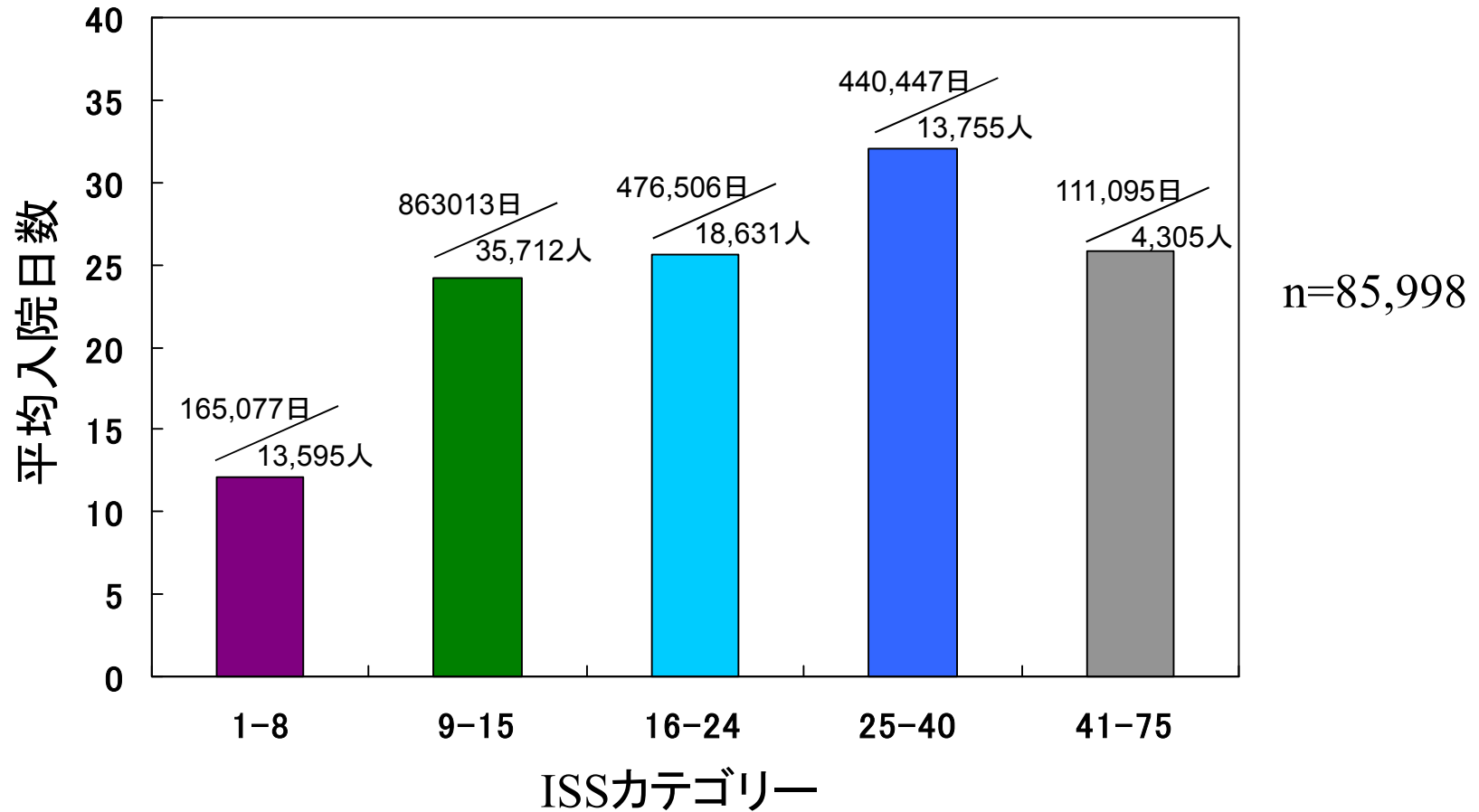
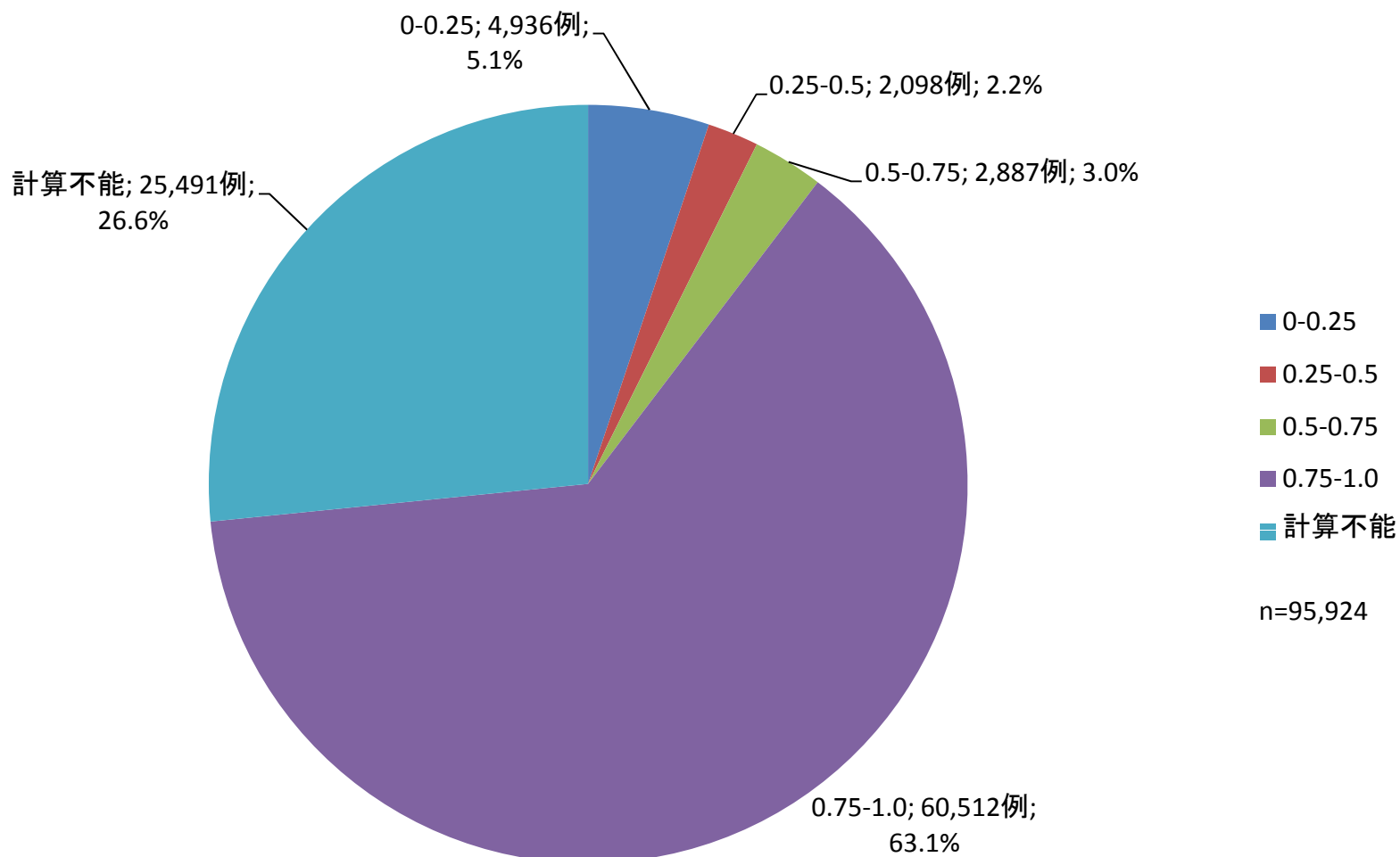


図20B ISS カテゴリー別の平均入院日数

Japan Trauma Data Bank Report 2008-2012



Ps(0.75-1.0)の症例が63.1%を占め、最も多かった。また、Psの計算に必要な項目が欠損している症例が26.6%あった。

図21 Probability of survival (Ps) カテゴリー別の症例数の割合

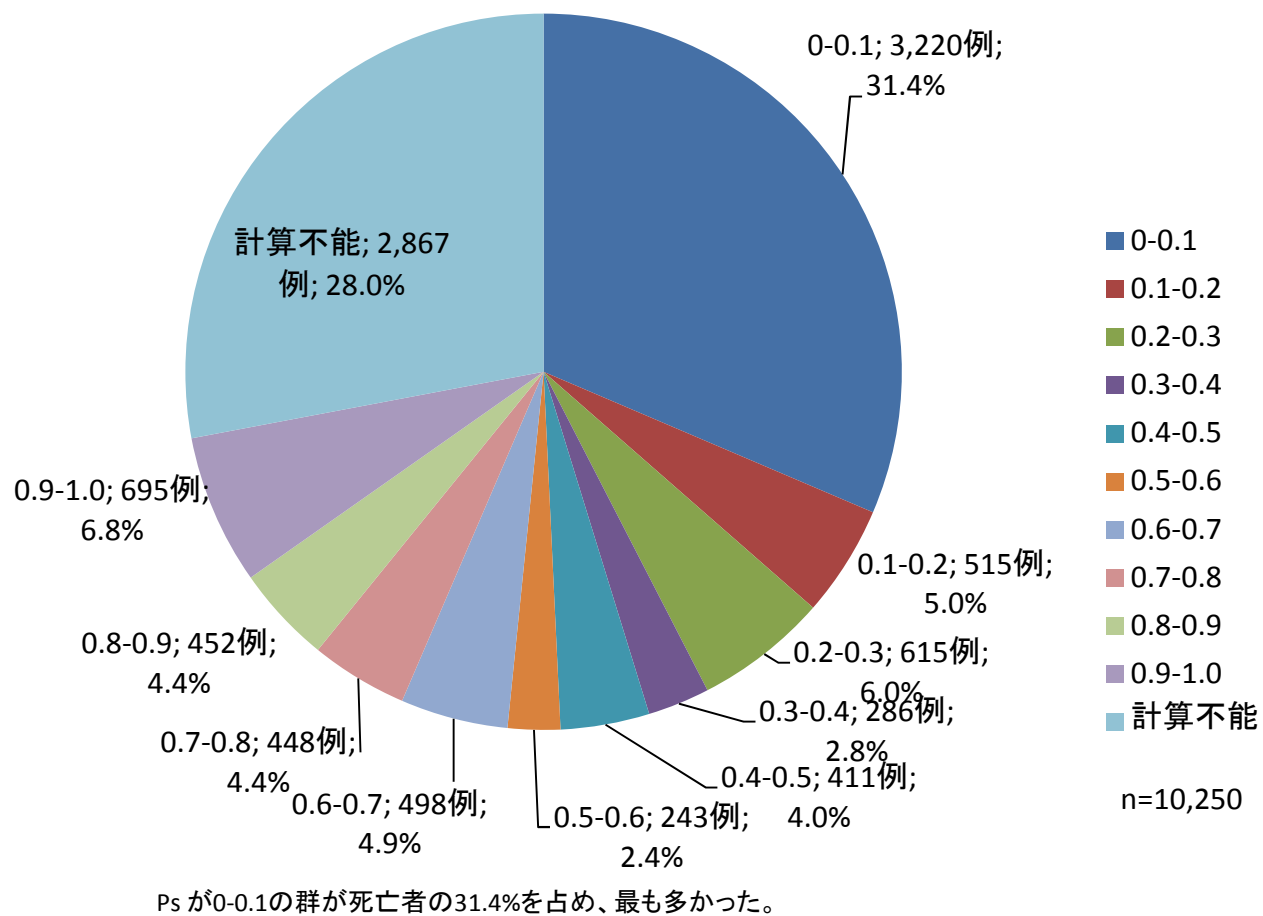
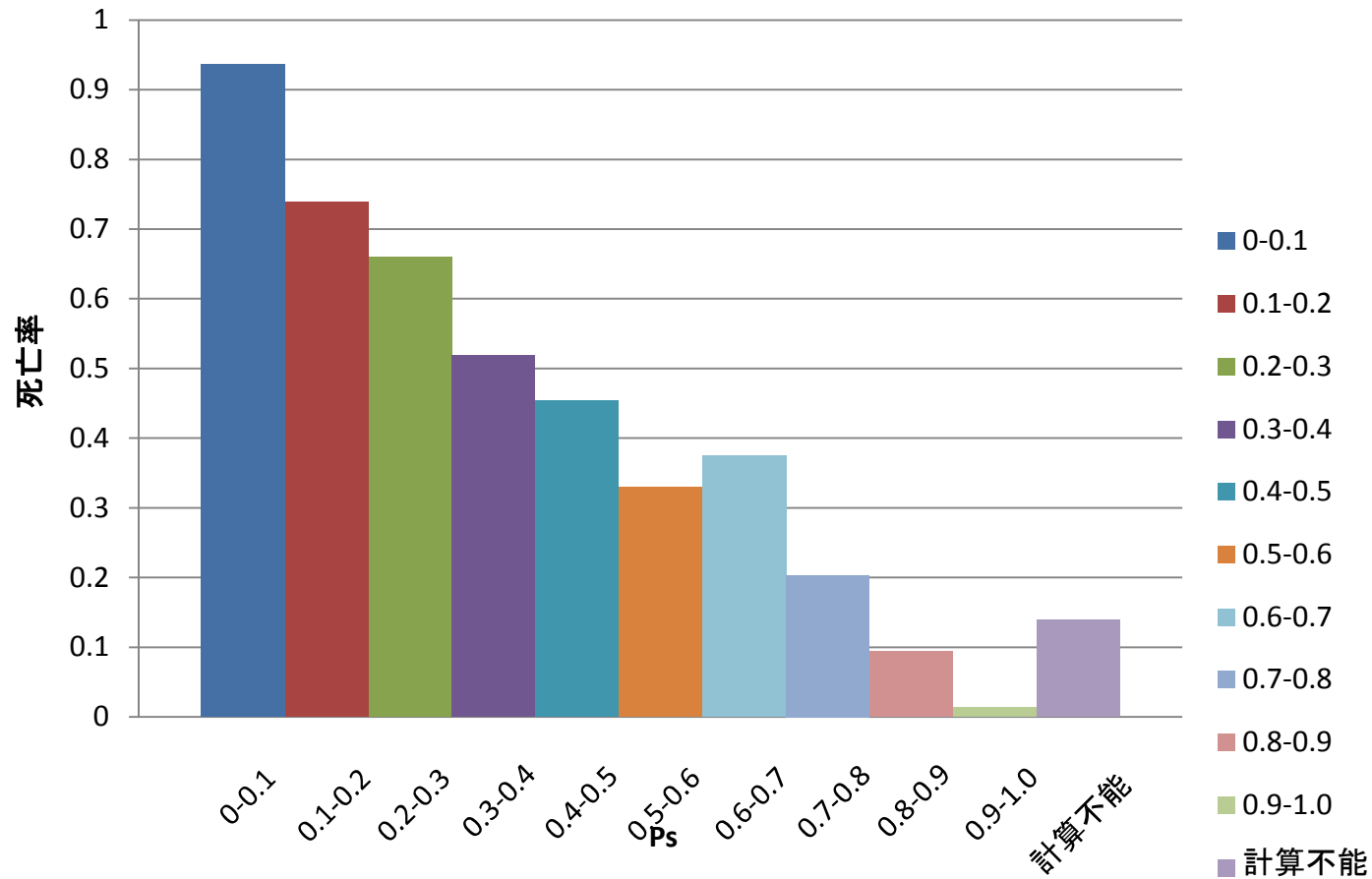


図22A Probability of survival (Ps)カテゴリー別の死亡数の割合



Psが0-0.1の群では死亡率は93.6%であったが、0.9-1.0の群では1.4%であった。Psが高くなるにつれて死亡率は減少する傾向があった。(転帰欠損症例はこの分析から除外した)

n=85,585

図22B 各Probability of survival (Ps) カテゴリーの死亡率

Japan Trauma Data Bank Report 2008-2012

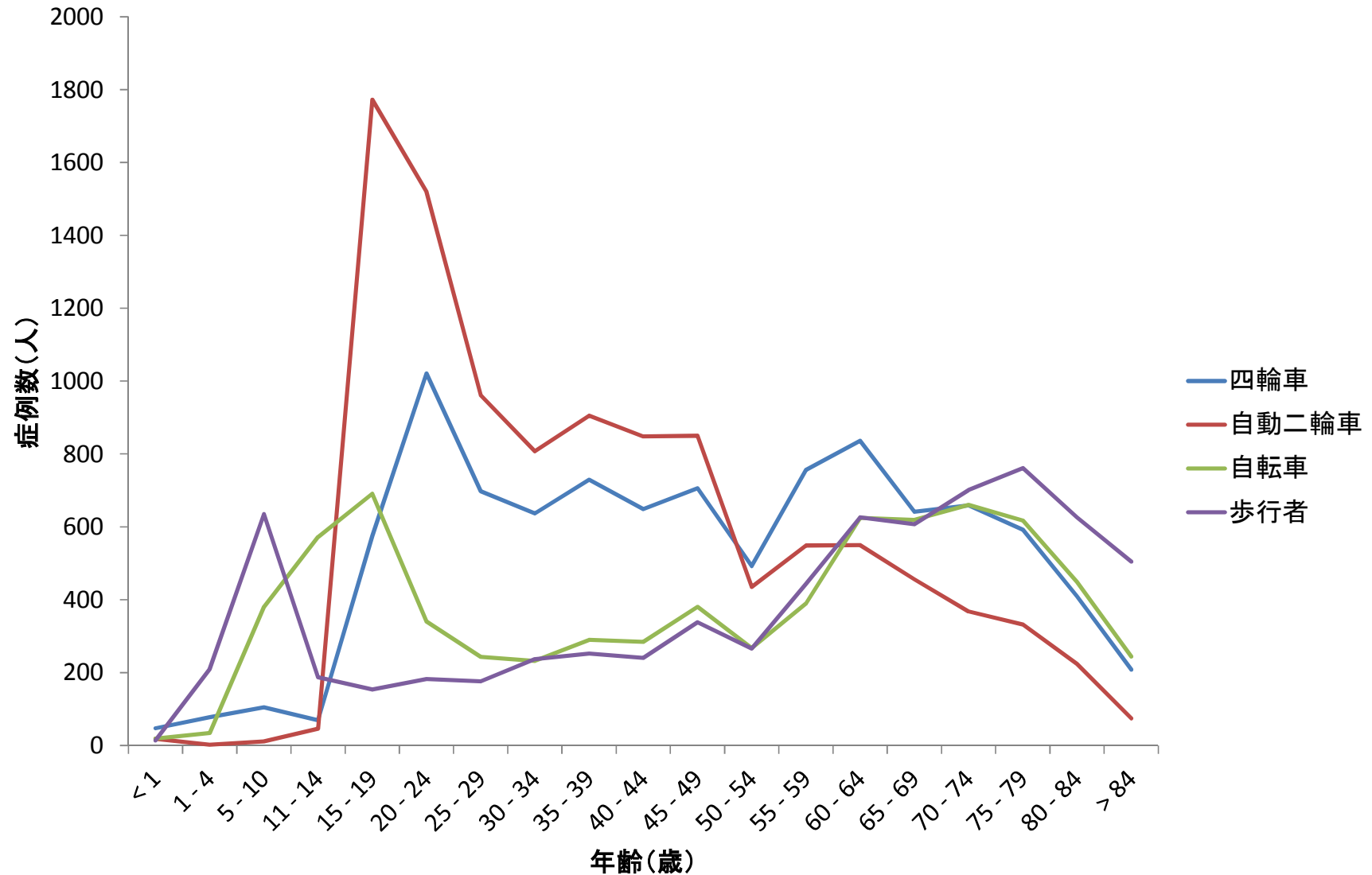


図23 交通事故患者における種類別および年齢別の患者数 (n = 35,129)

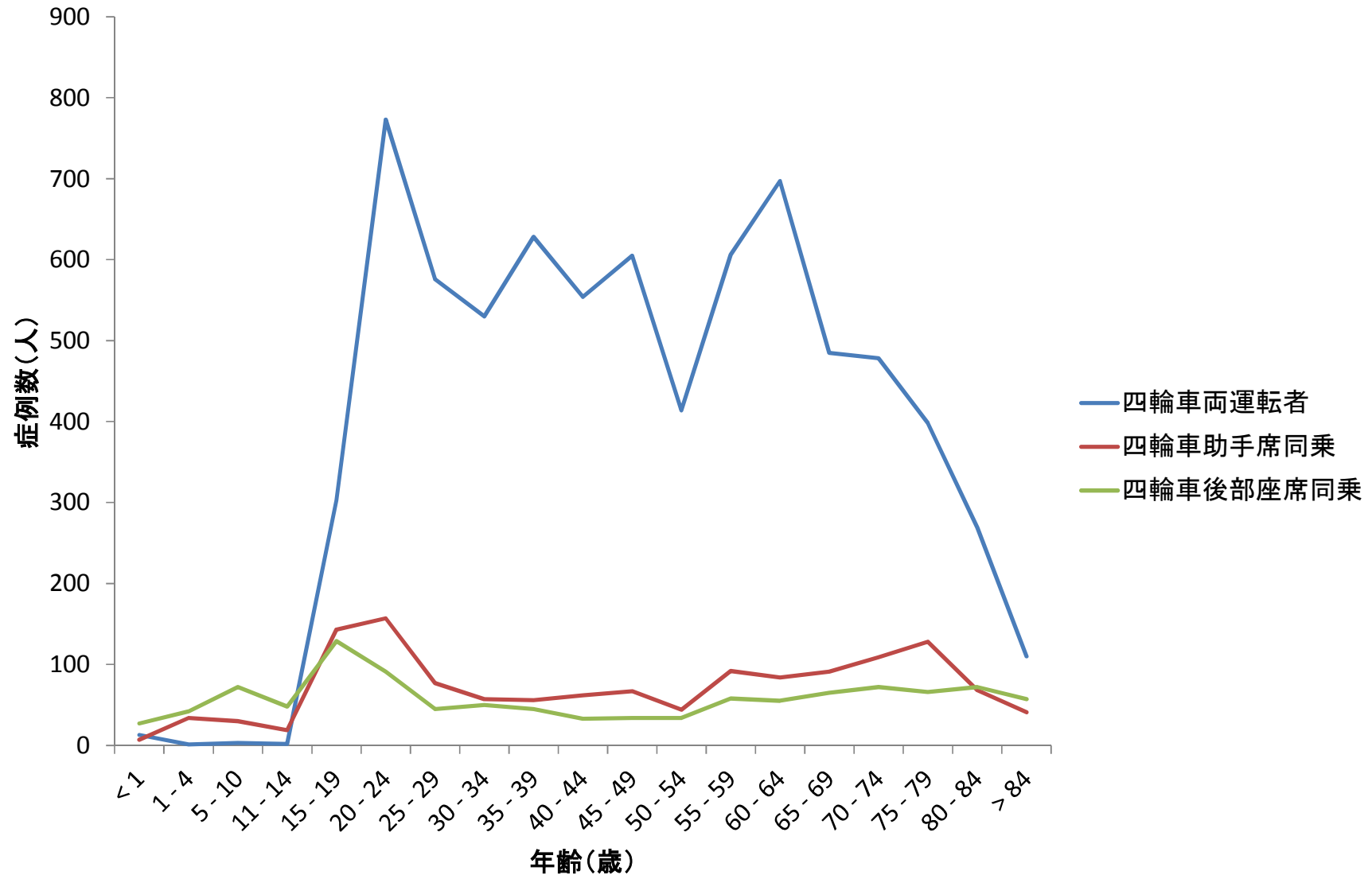


図24 四輪車事故症例数の運転者・乗客別年齢分布 (n = 9,906)

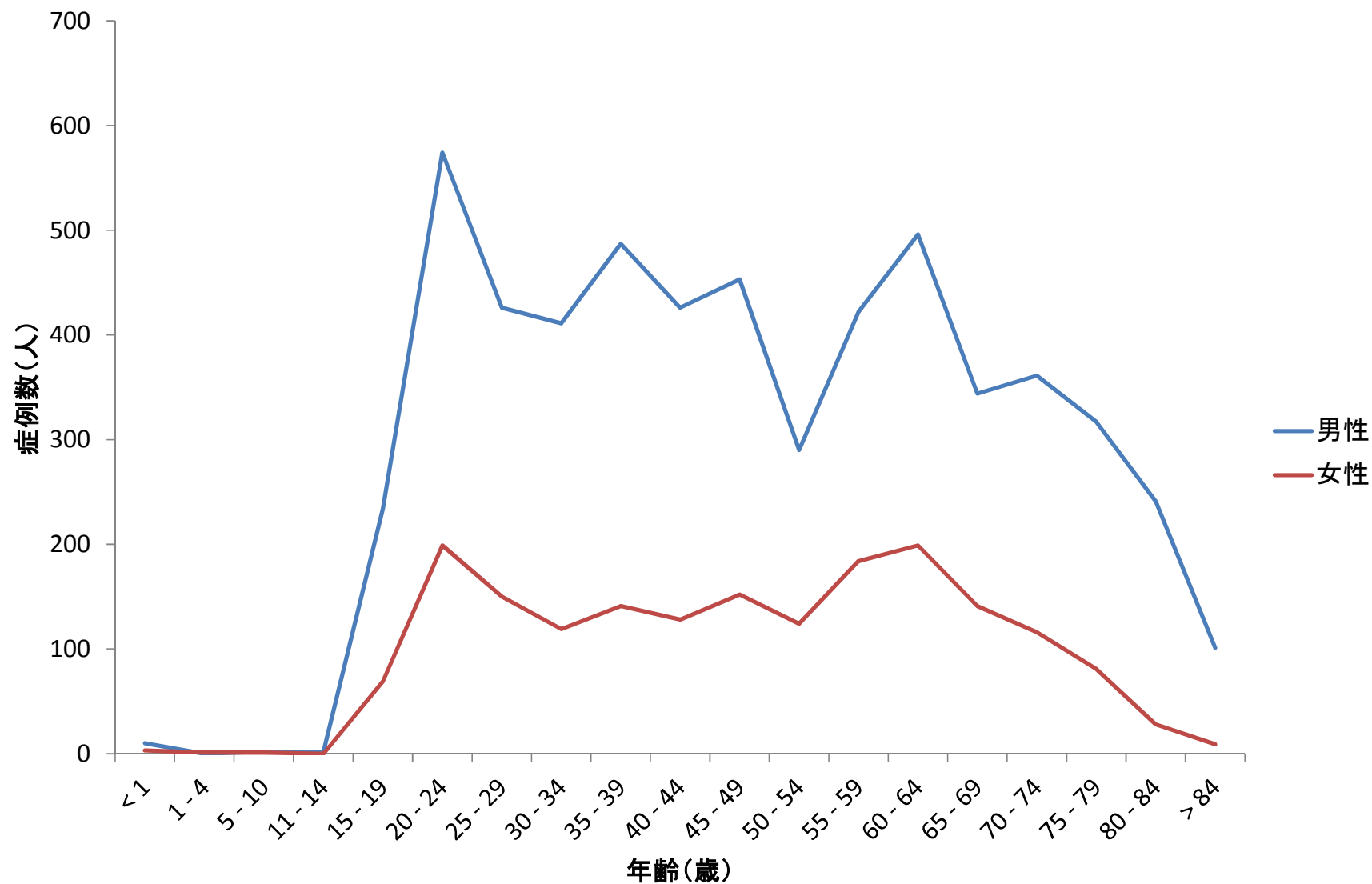


図25 四輪者事故(運転者)症例数の性別年齢分布 (n = 7,442)

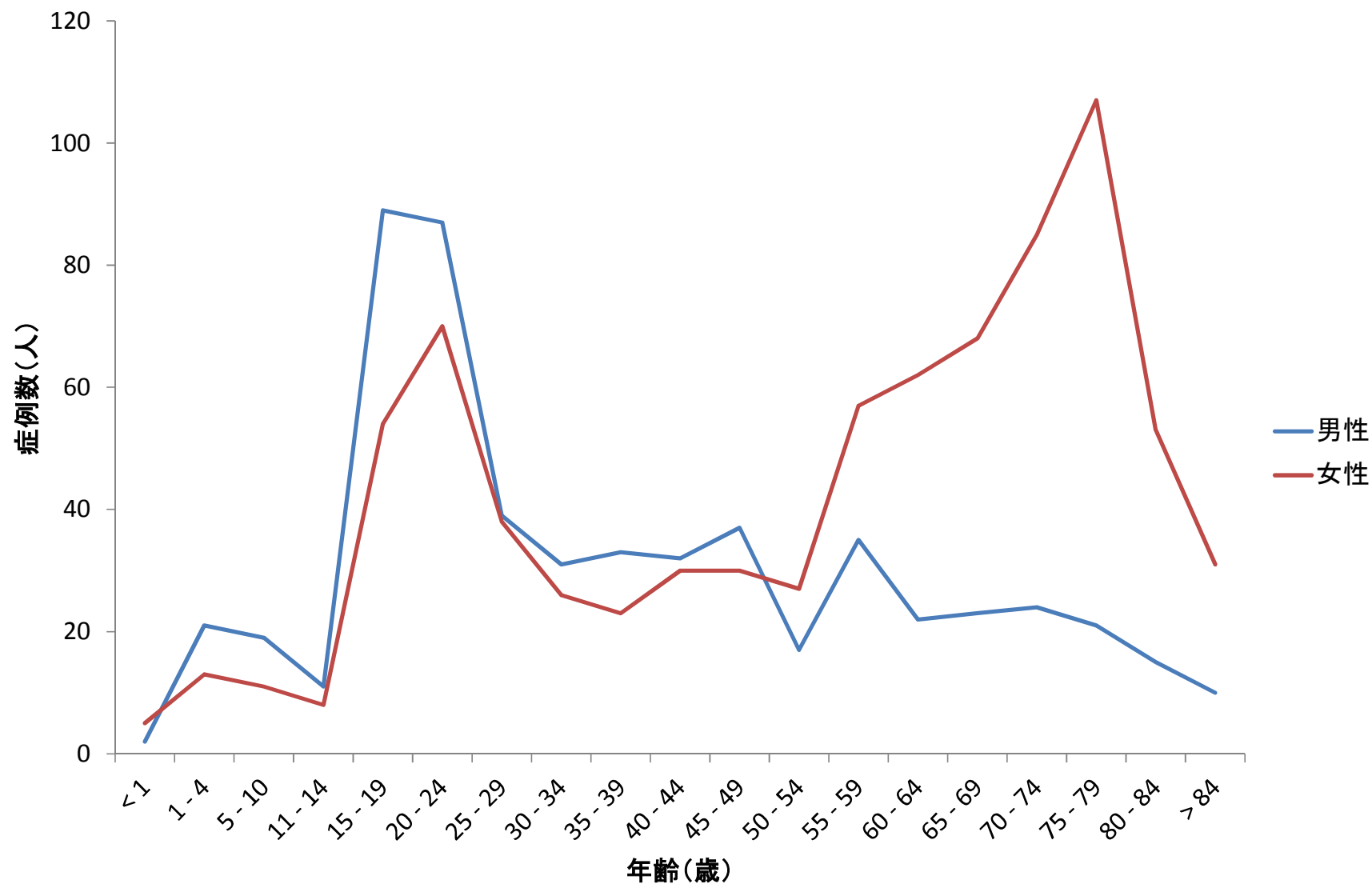


図26 四輪者事故(助手席)症例数の性別年齢分布 (n = 1,366)

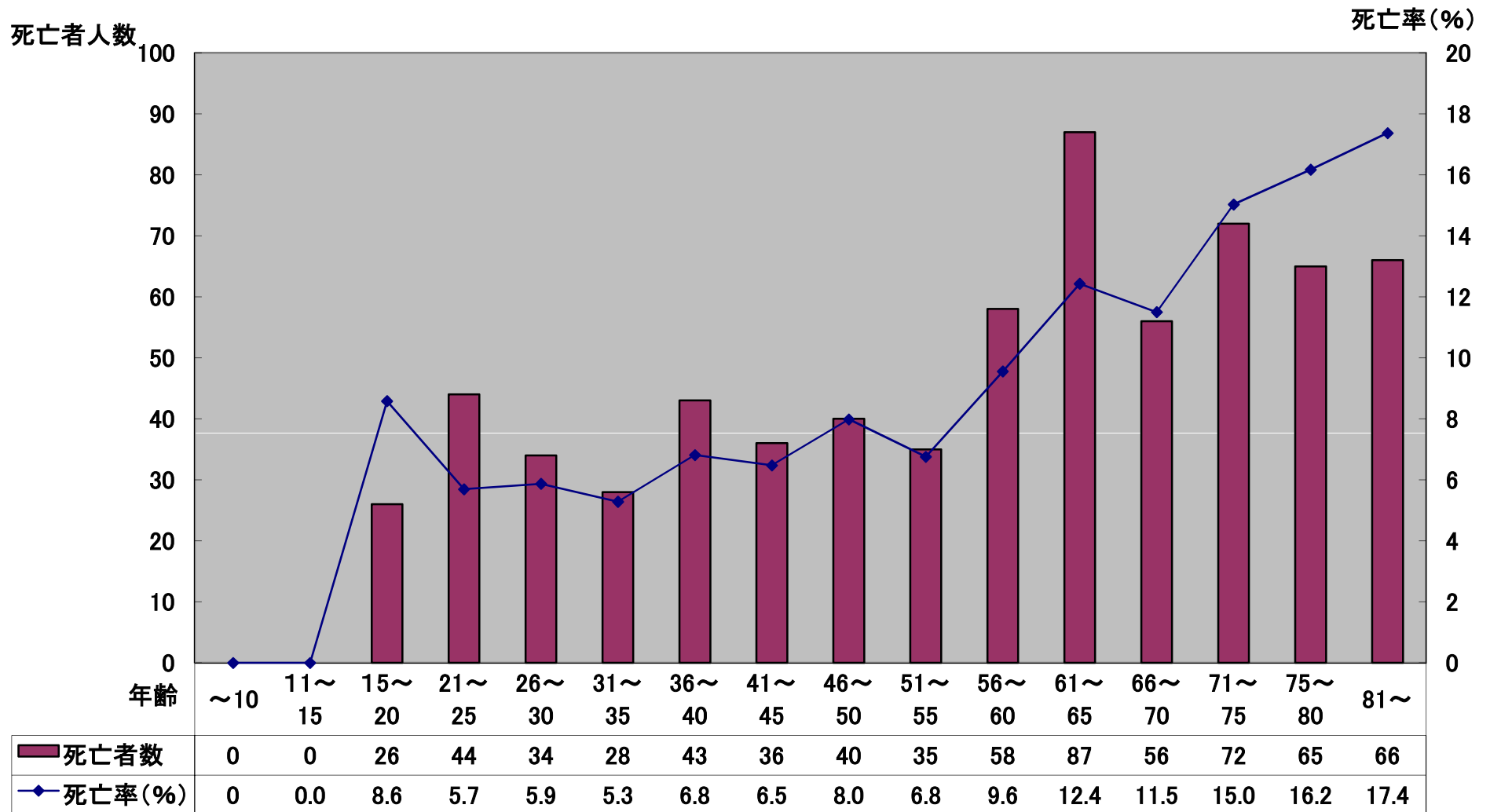


図27 四輪車における運転手の年齢別死亡者数および死亡率

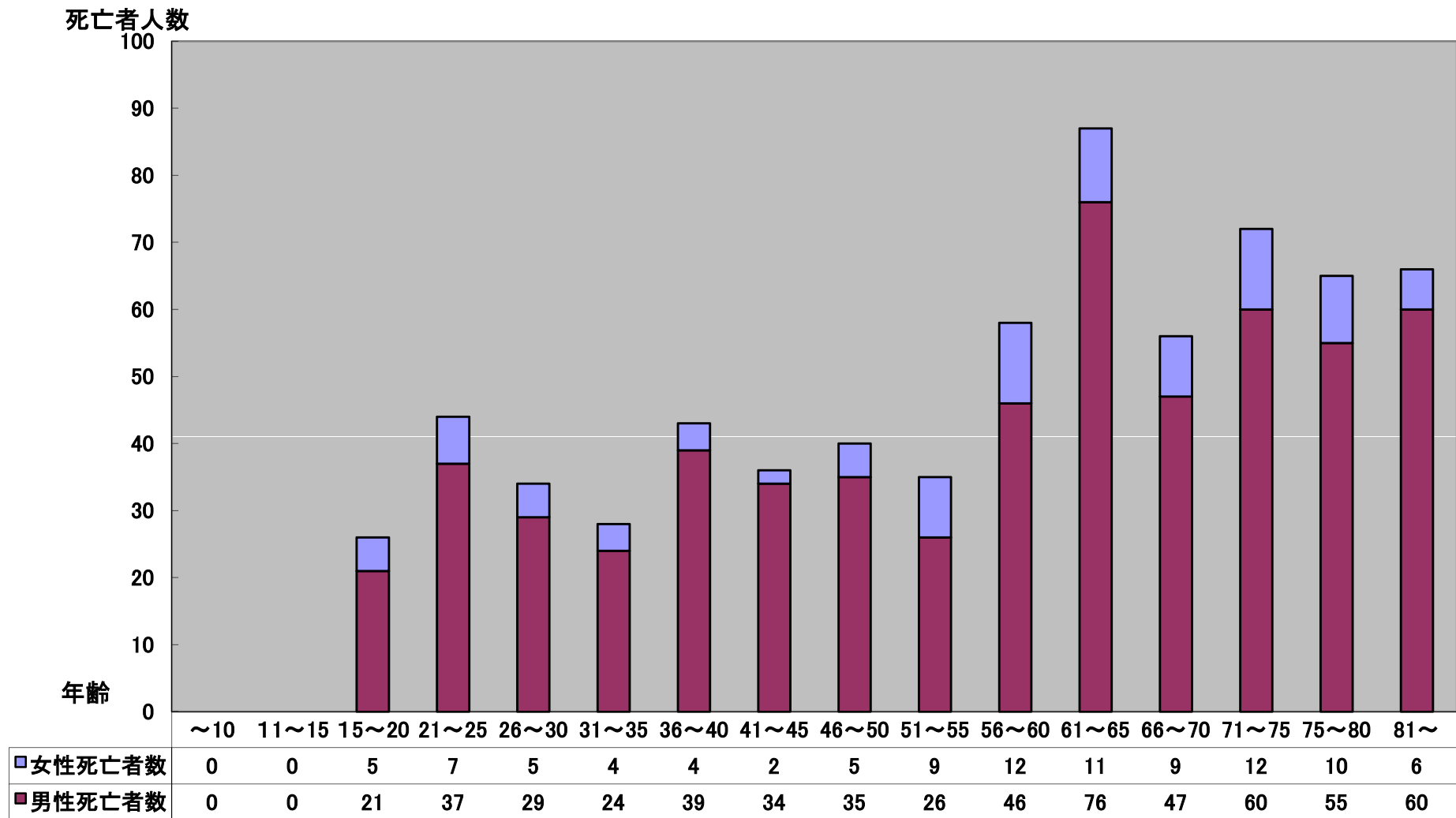


図28 性別および年齢別運転死亡者数

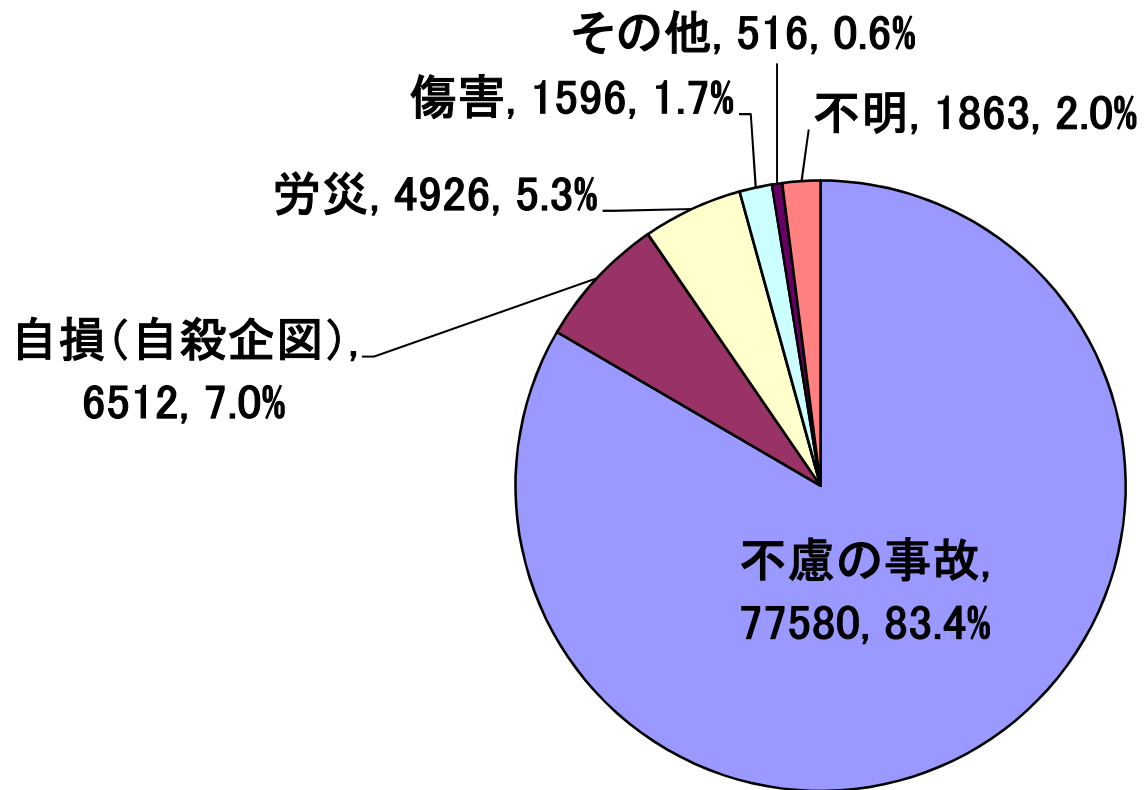


図29 外傷原因別の登録患者比率

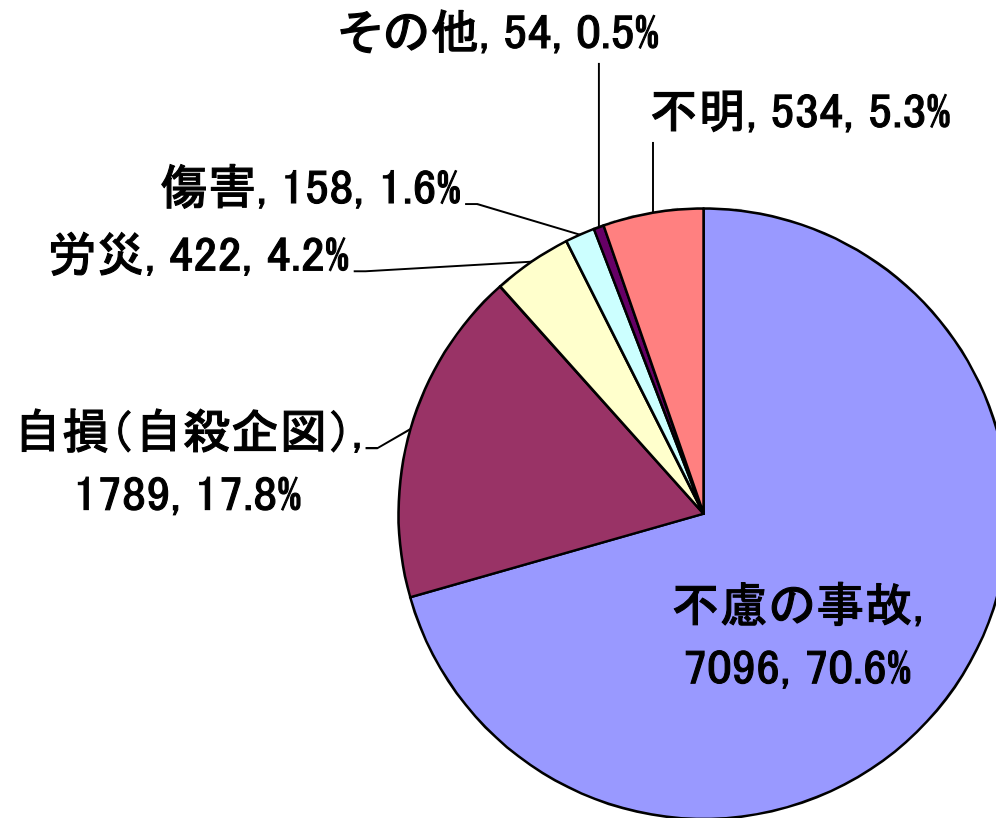


図30 外傷原因別の死亡者比率

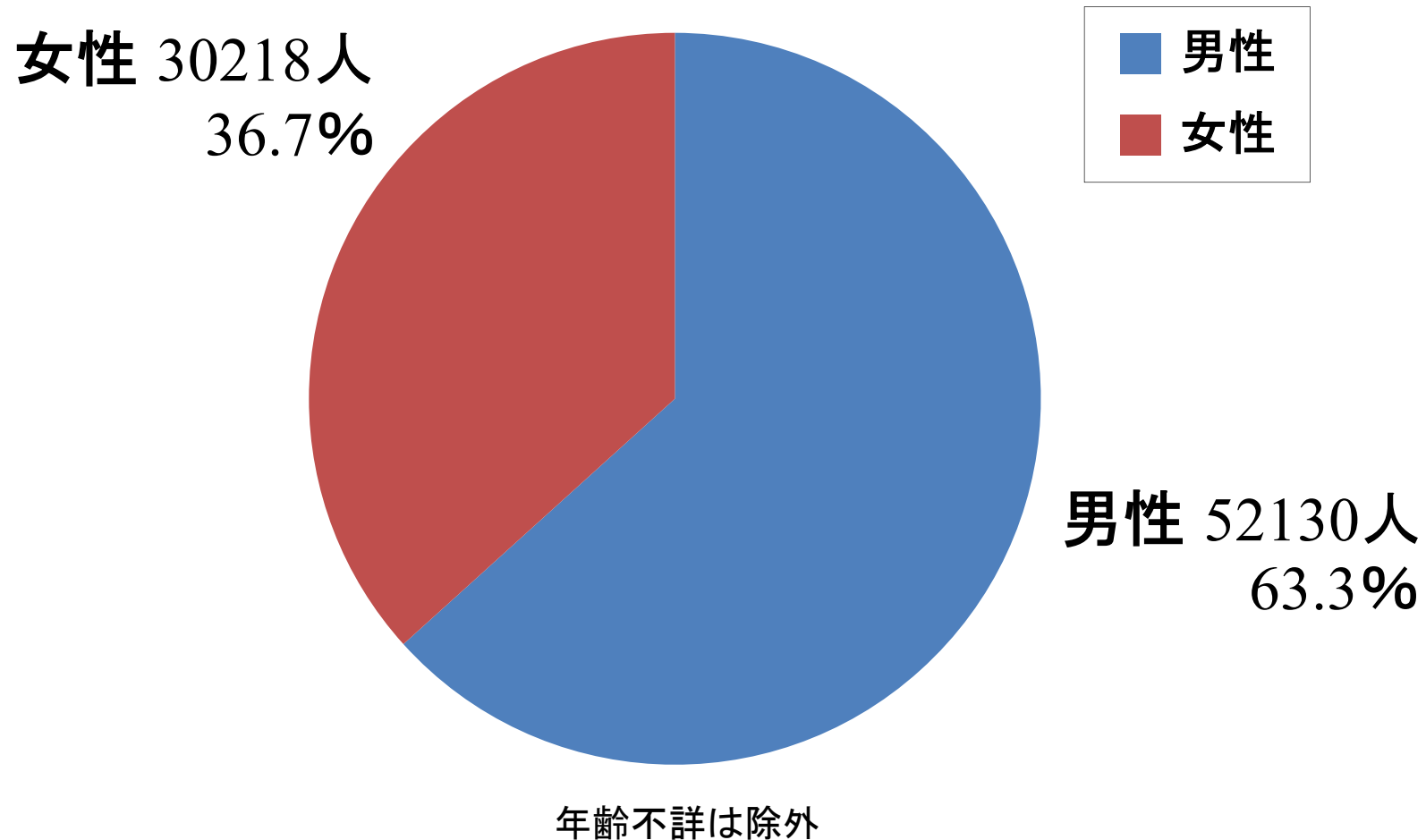


図31 不慮の事故および労災による外傷患者の性別比率

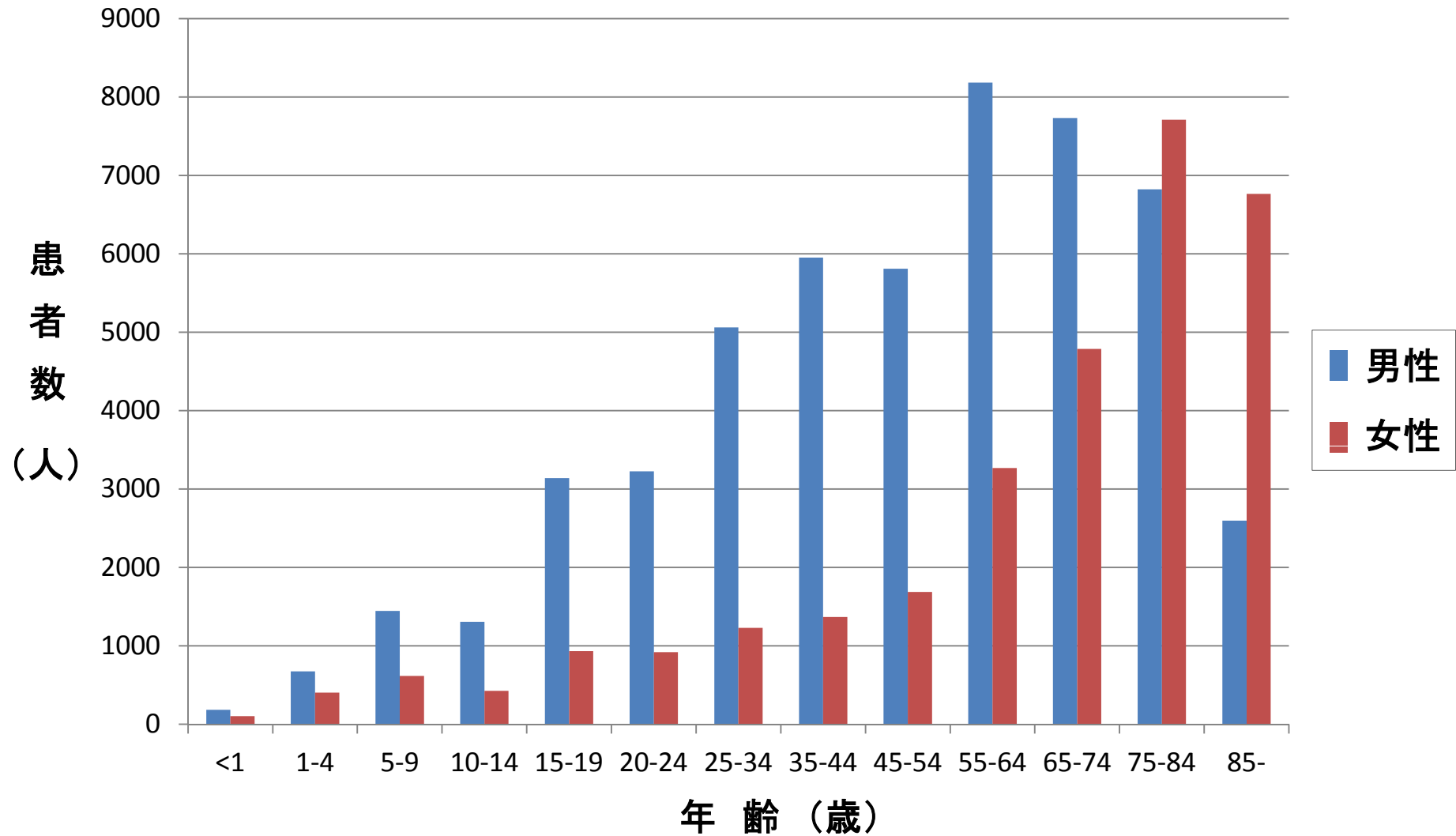


図32 不慮の事故および労災による外傷患者の性別年齢分布

年齢	男性	女性	計
< 1	184	105	289
1 - 4	674	403	1077
5 - 9	1446	617	2063
10 - 14	1307	427	1734
15 - 19	3138	932	4070
20 - 24	3225	920	4145
25 - 34	5060	1228	6288
35 - 44	5951	1368	7319
45 - 54	5811	1688	7499
55 - 64	8184	3268	11452
65 - 74	7732	4787	12519
75 - 84	6822	7710	14532
85 -	2592	6765	9361
	52130	30218	82348

表32 不慮の事故および労災による外傷患者の性別年齢分布

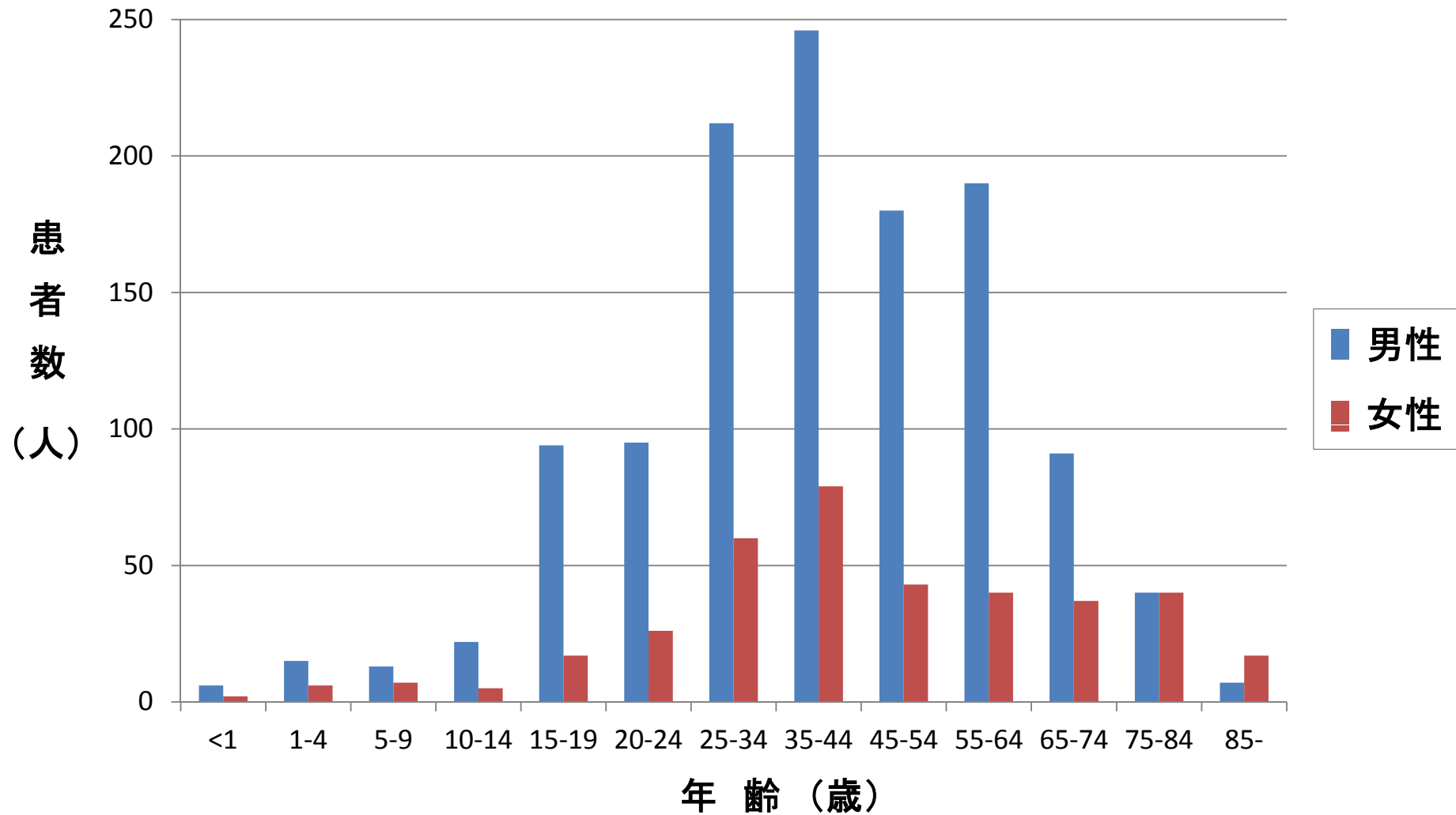


図33 傷害による外傷患者の性別年齢分布

年齢	男性	女性	計
< 1	6	2	8
1 - 4	15	6	21
5 - 9	13	7	20
10 - 14	22	5	27
15 - 19	94	17	111
20 - 24	95	26	121
25 - 34	212	60	272
35 - 44	246	79	325
45 - 54	180	43	223
55 - 64	190	40	230
65 - 74	91	37	128
75 - 84	40	40	80
85 -	7	17	24
	1211	379	1590

表33 傷害による外傷患者の性別年齢分布

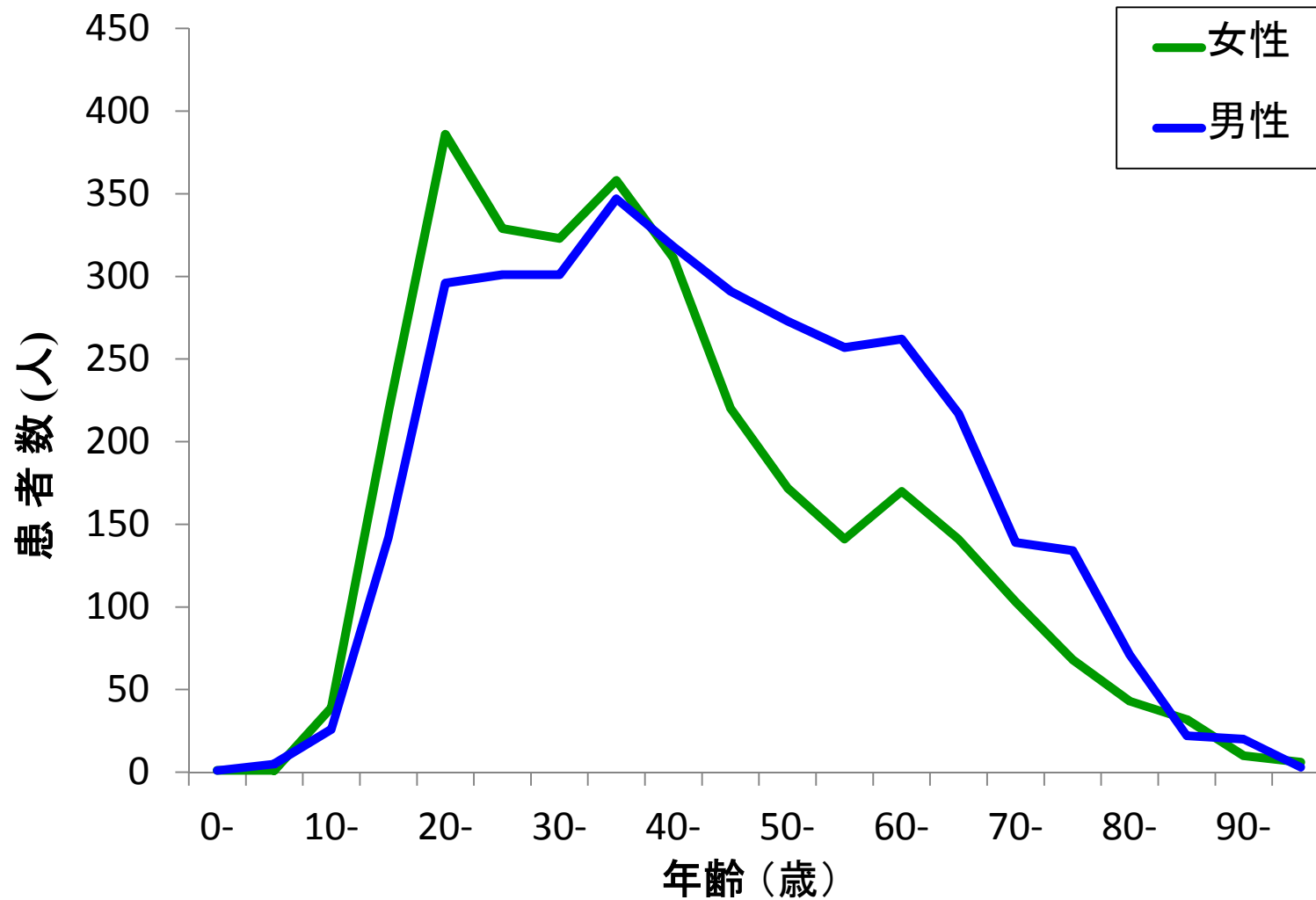
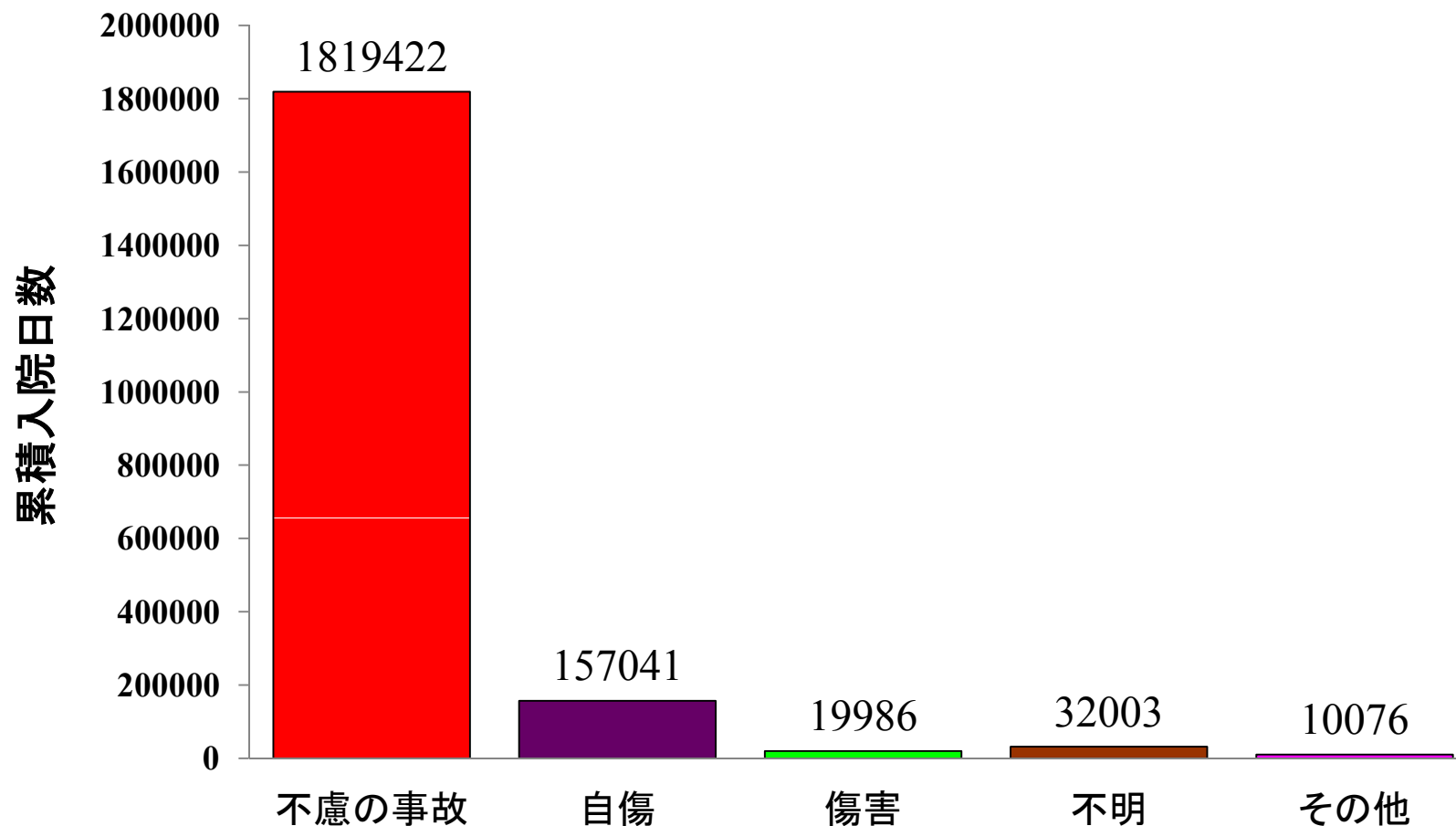


図34 自傷による外傷患者の性別年齢分布

Japan Trauma Data Bank Report 2008-2012

年齢	0-	5-	10-	15-	20-	25-	30-	35-	40-	45-	50-	55-	60-	65-	70-	75-	80-	85-	90-	95-	不明	計
女性	1	1	39	218	386	329	323	358	311	220	172	141	170	141	103	68	43	32	10	6	19	3,091
男性	1	5	26	142	296	301	301	347	318	291	273	257	262	217	139	134	71	22	20	3	23	3,449
計	2	6	65	360	682	630	624	705	629	511	445	398	432	358	242	202	114	54	30	9	42	6,540

表34 自傷による外傷患者の性別年齢分布



「記載なし」とは、外傷原因の記載がないものを指す。
不慮の事故には、労災も含まれる。

図35A 外傷原因別の累積入院日数

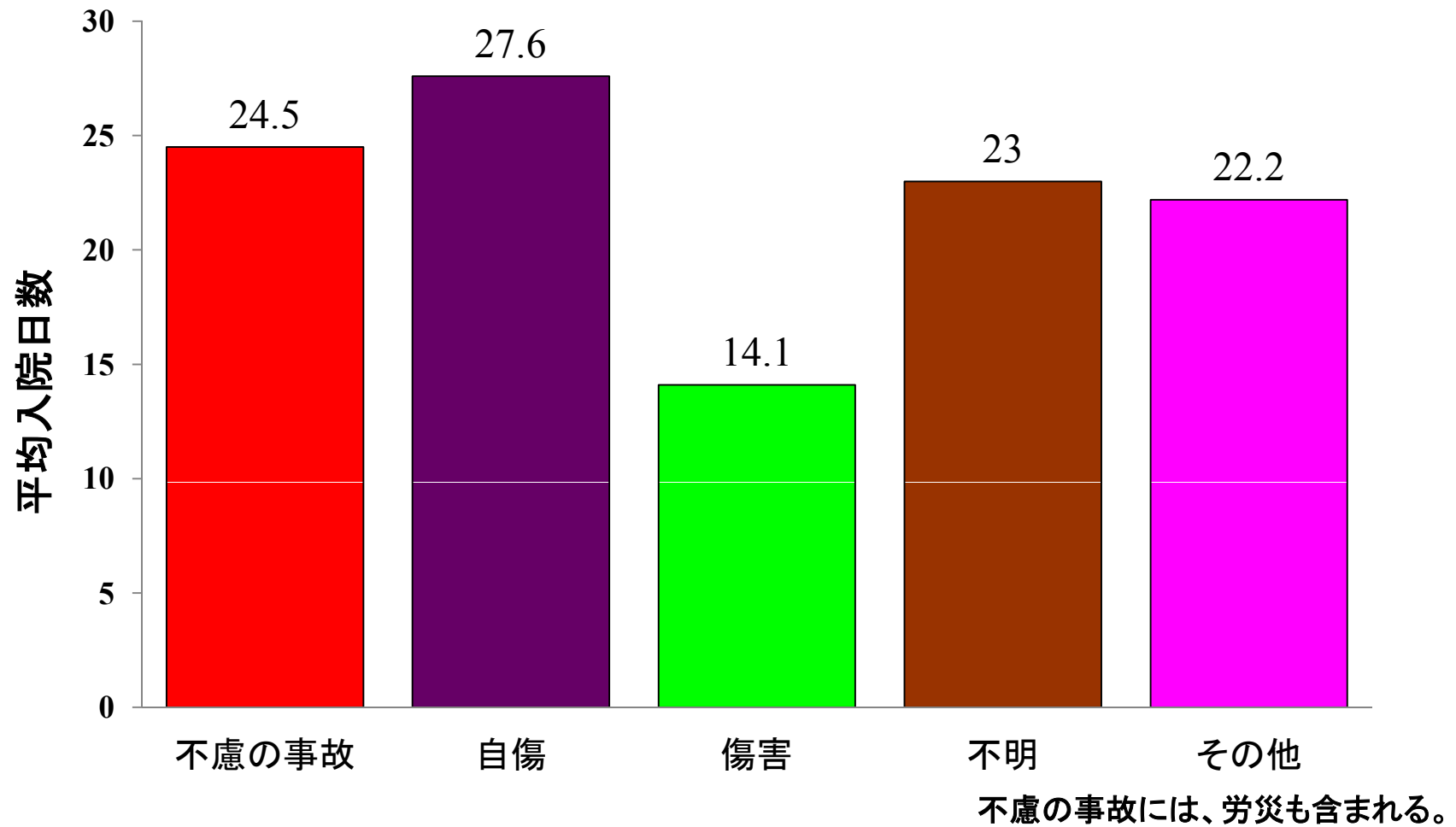


図35B 外傷原因別の平均入院日数

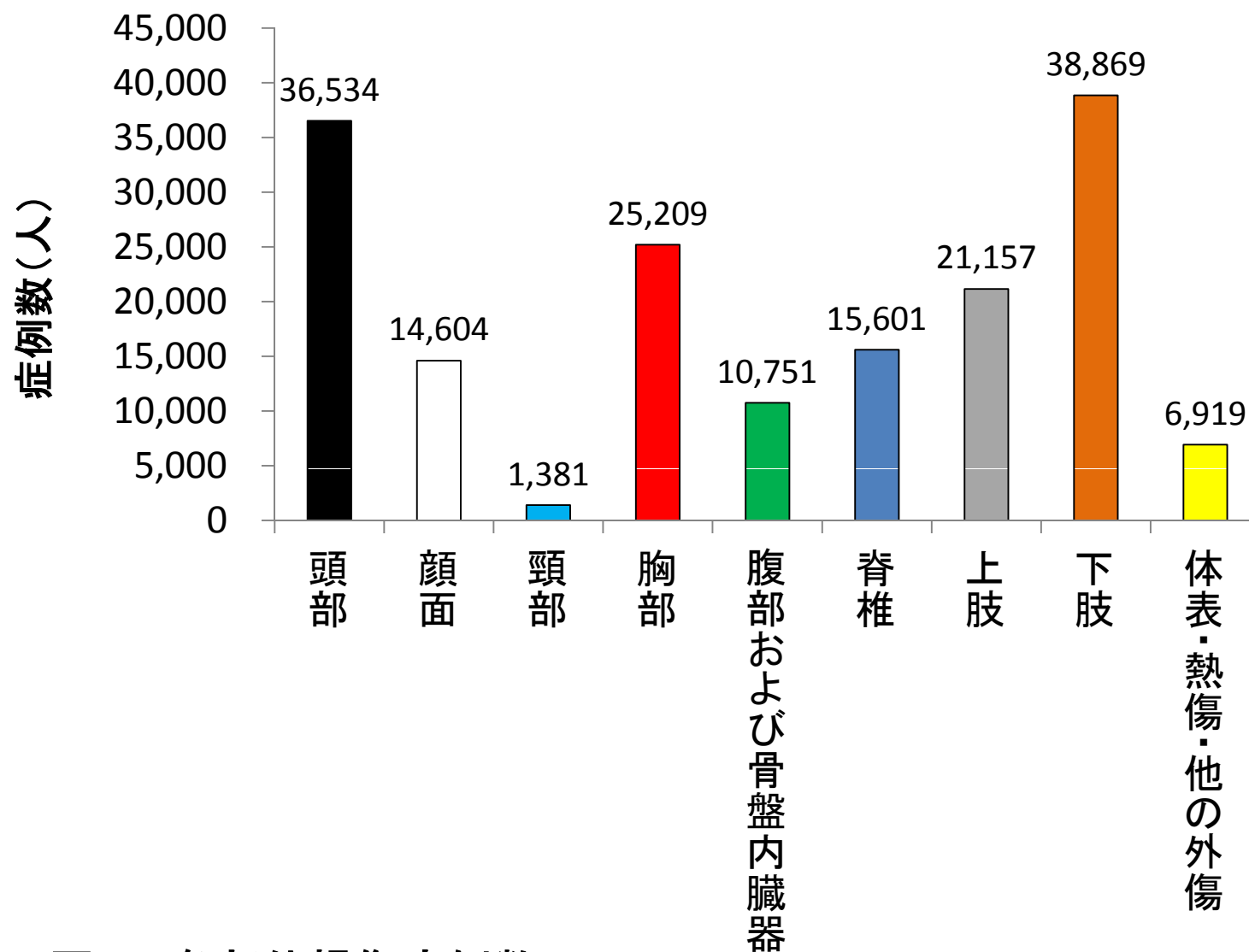


図36 各部位損傷症例数

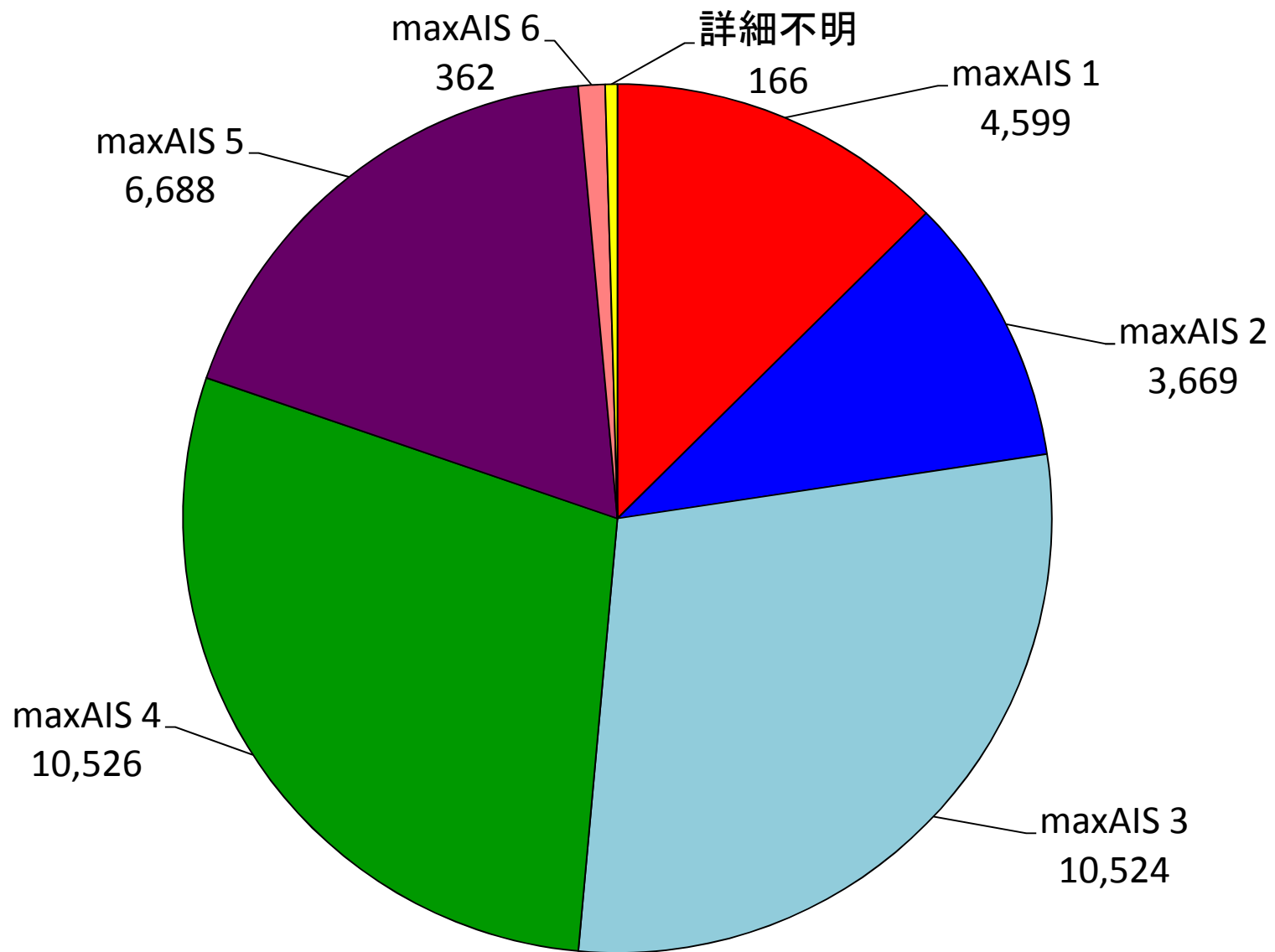


図37A 頭部損傷とmax AIS重症度

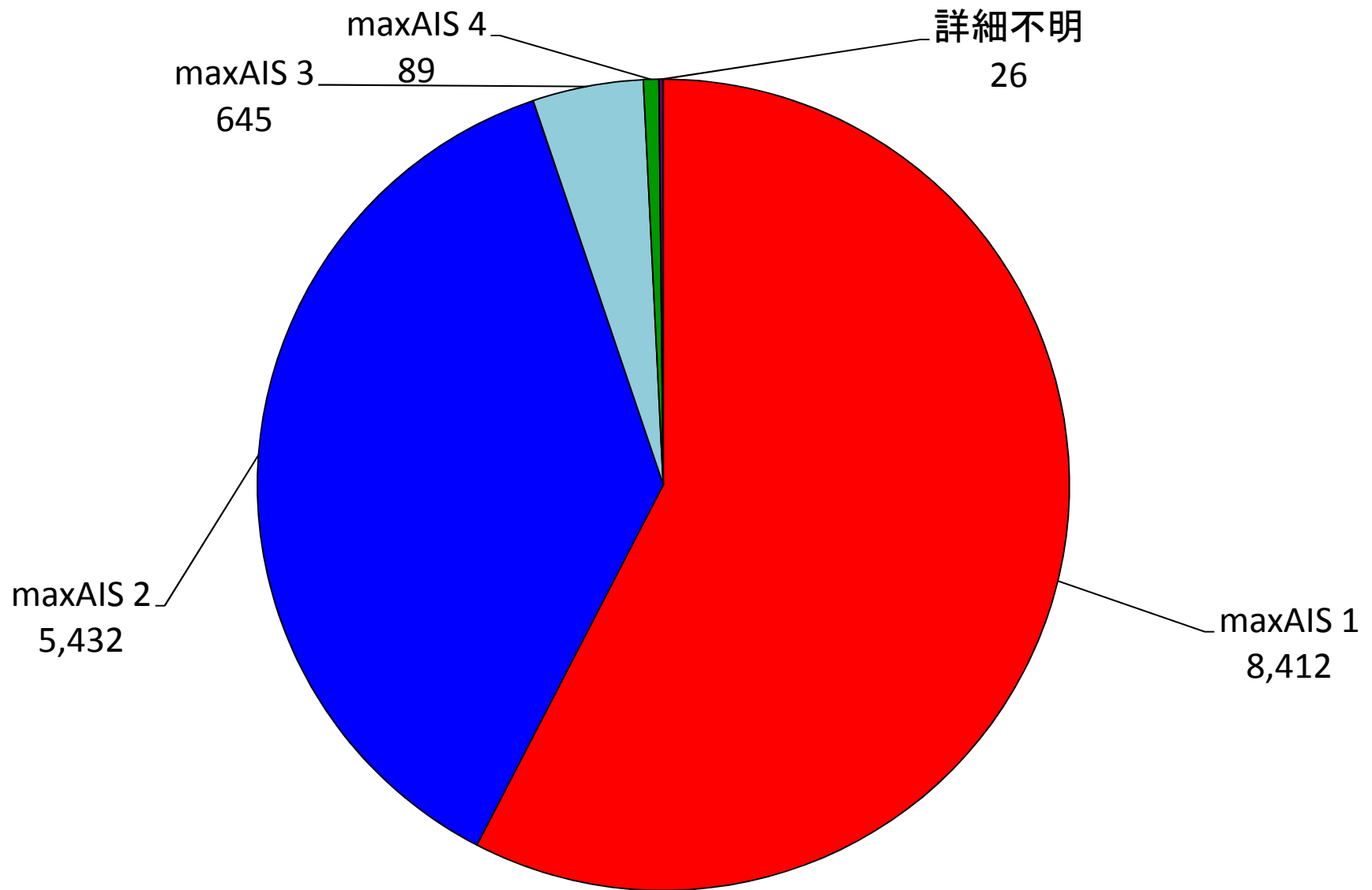


図37B 顔面損傷とmax AIS重症度

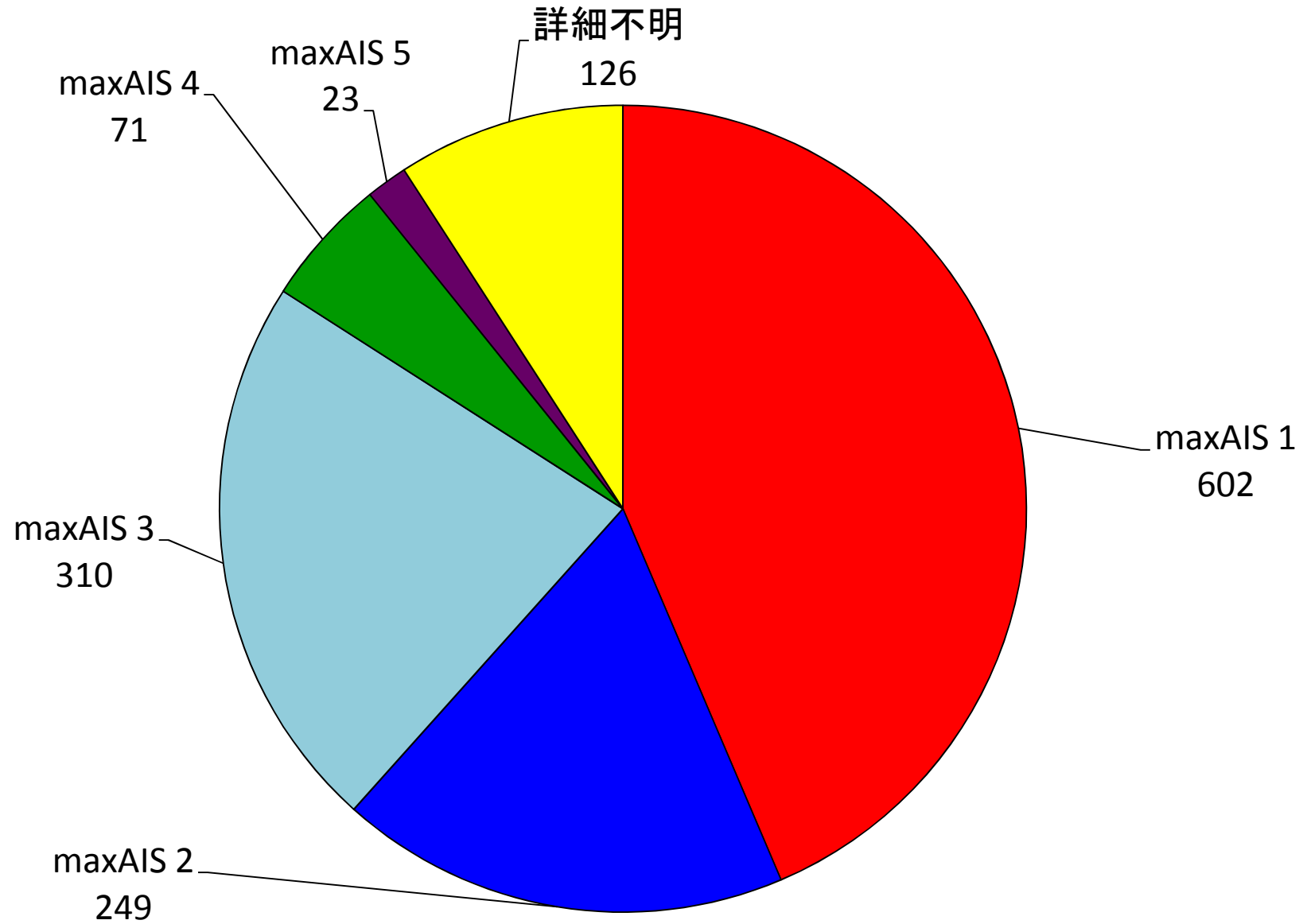


図37C 頸部損傷とmax AIS重症度

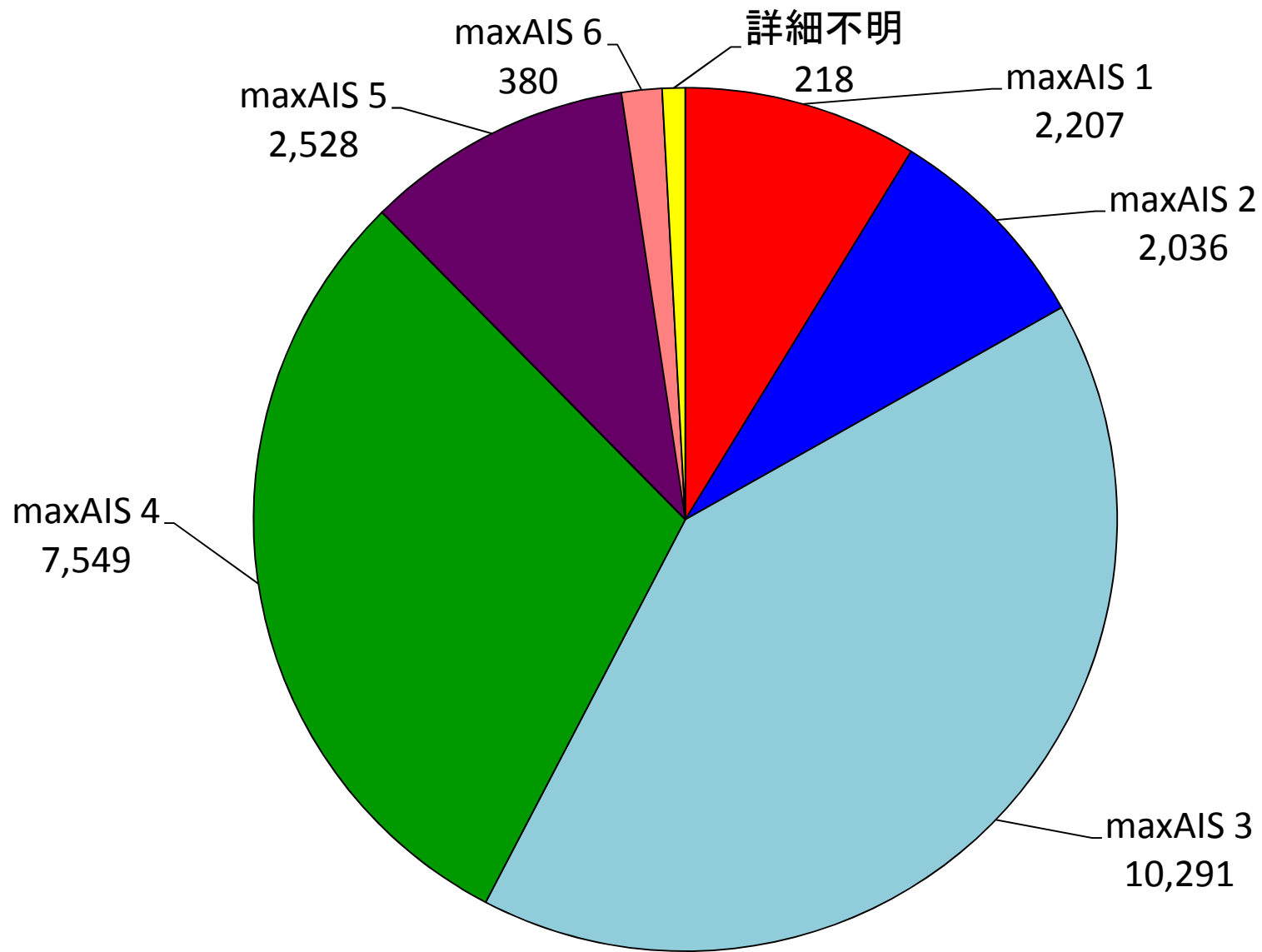


図37D 胸部損傷とmax AIS重症度

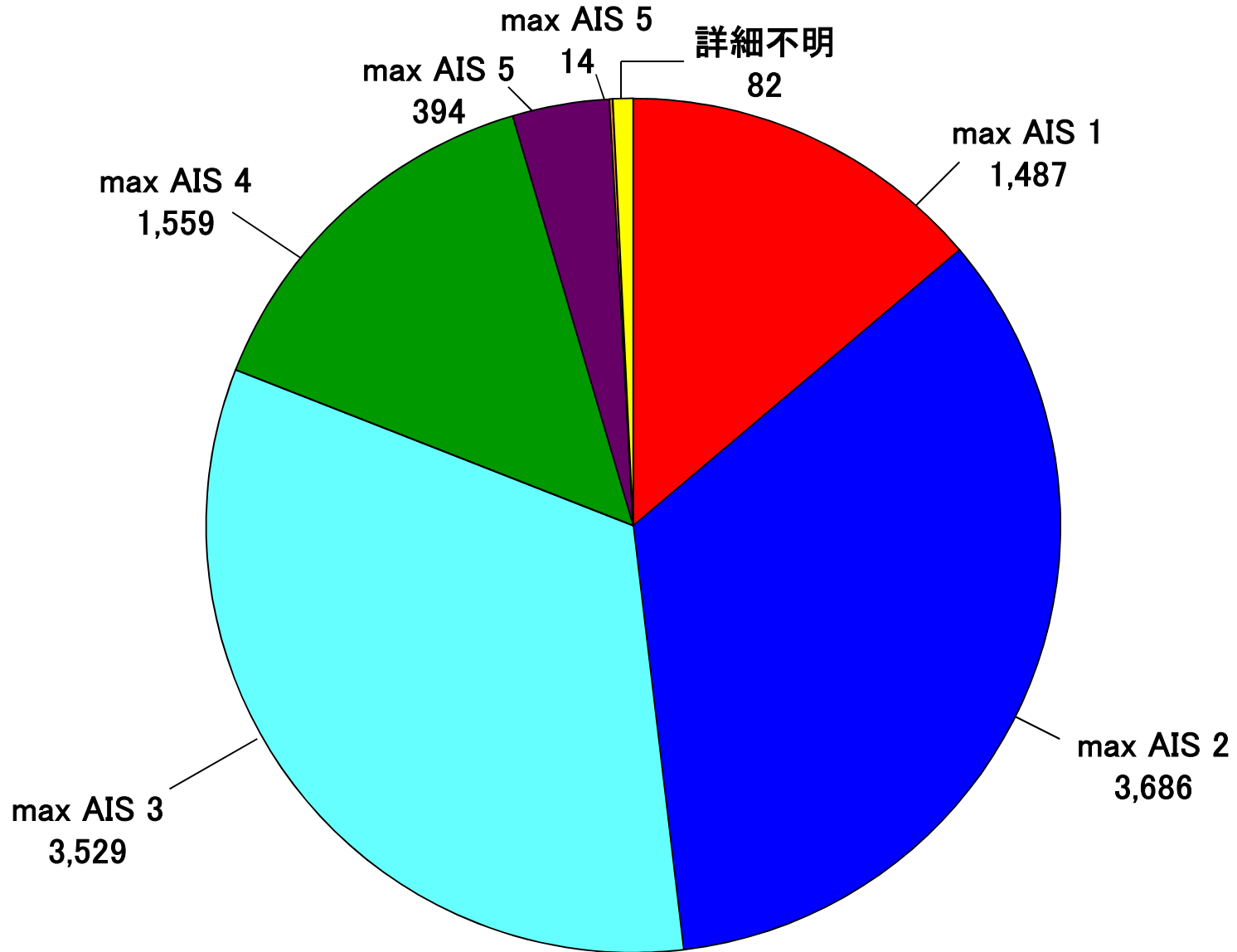


図37E 腹部および骨盤内臓器損傷とmax AIS重症度

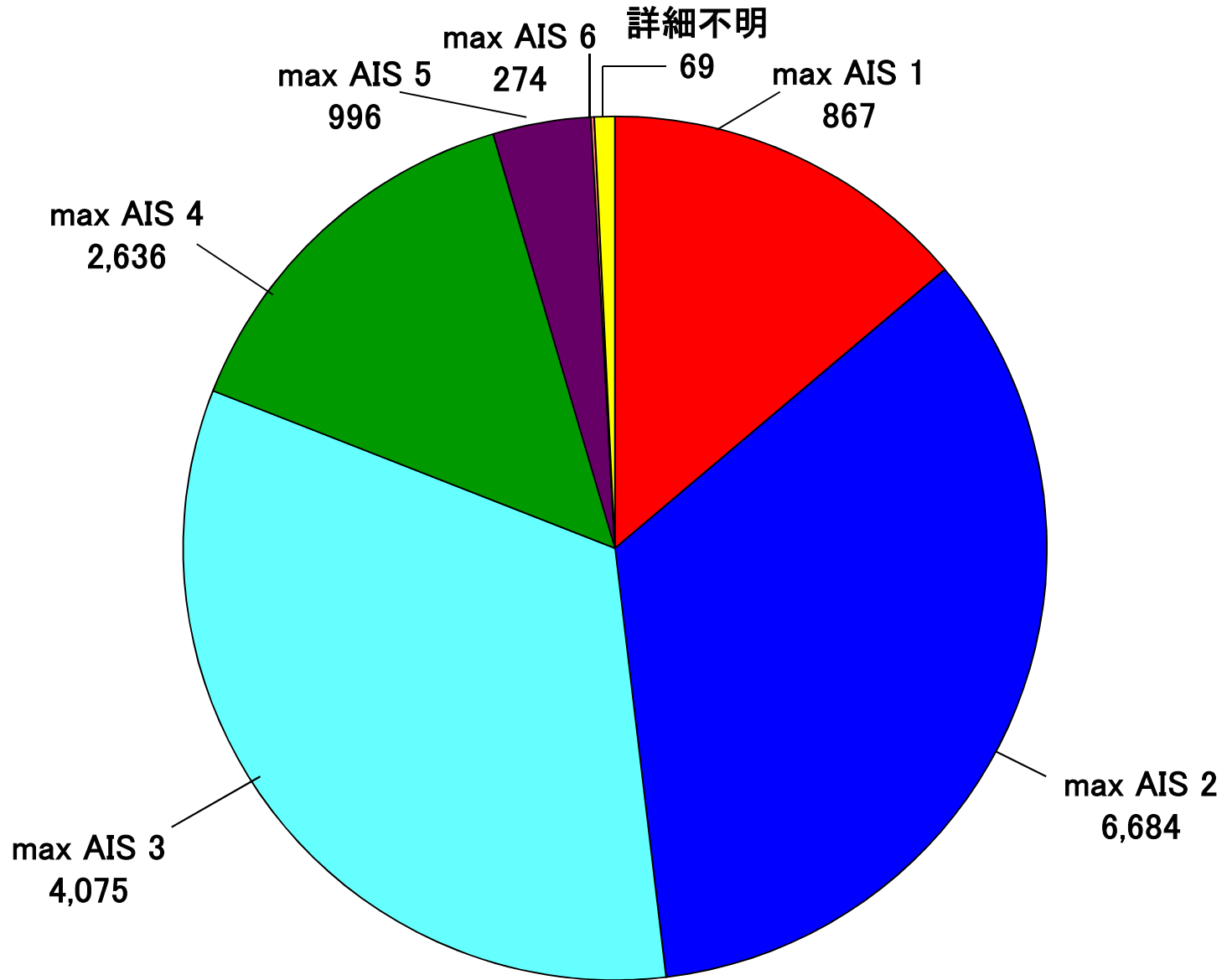


図37F 脊椎損傷とmax AIS重症度

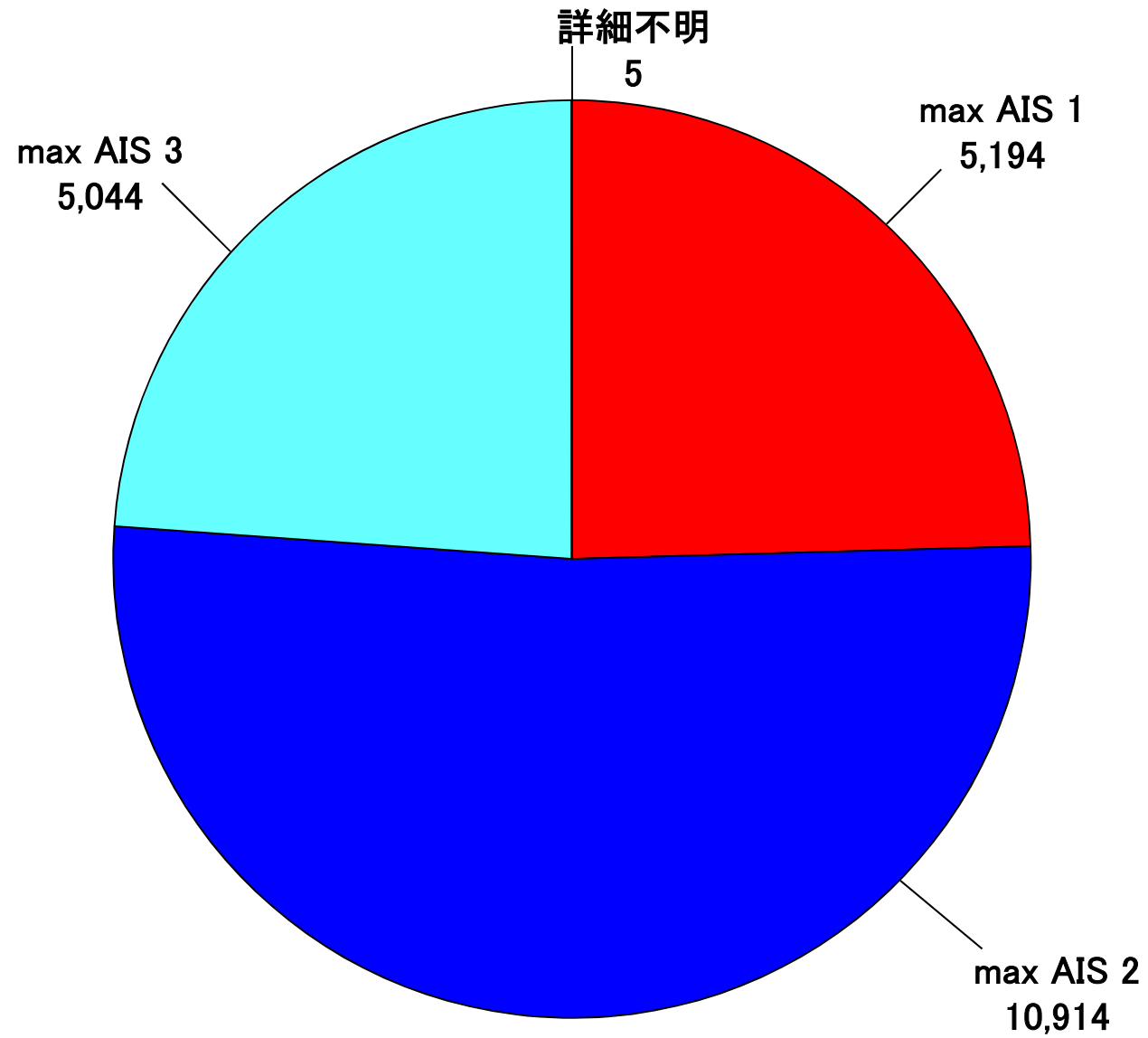


図37G 上肢損傷とmax AIS重症度

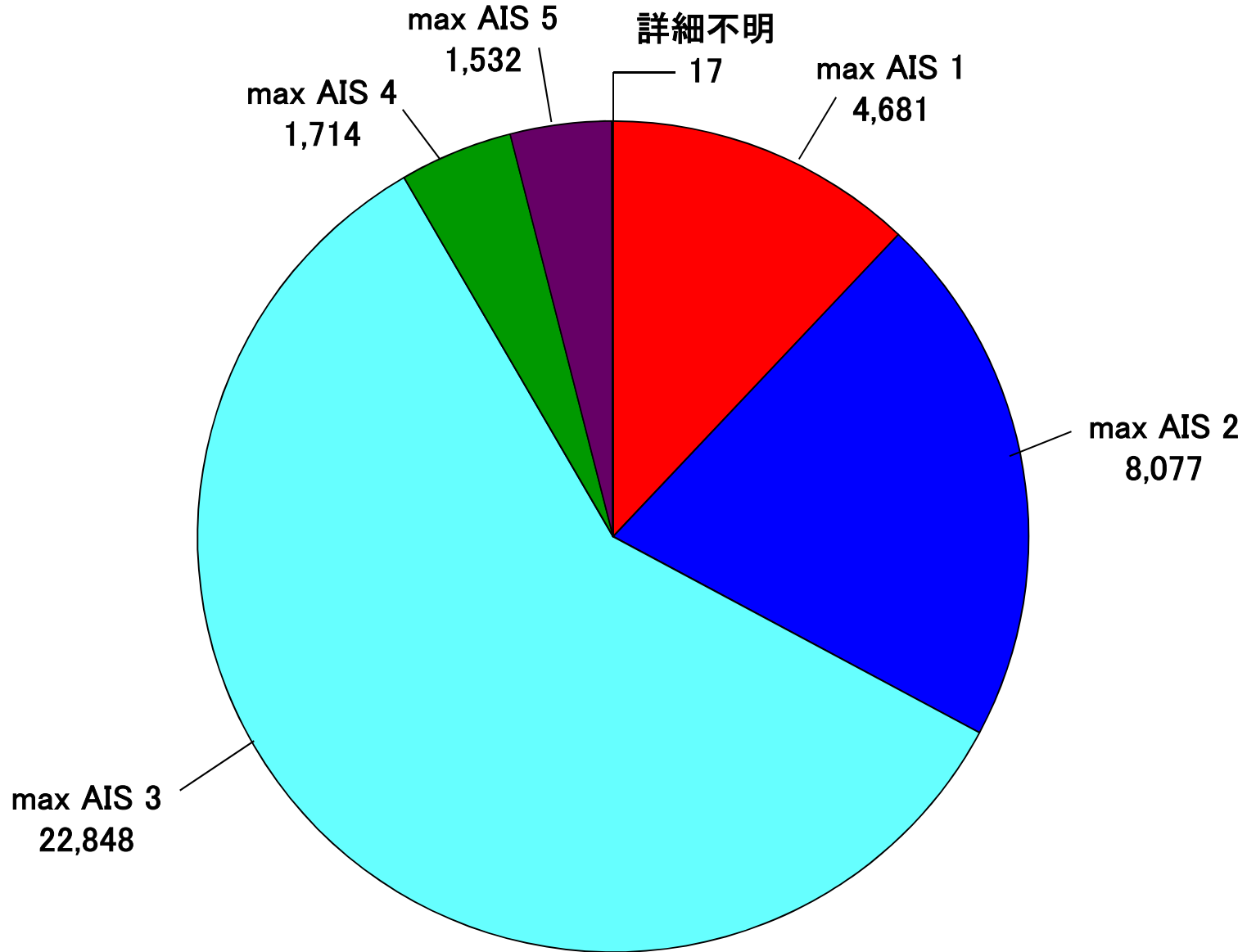


図37H 下肢損傷とmax AIS重症度

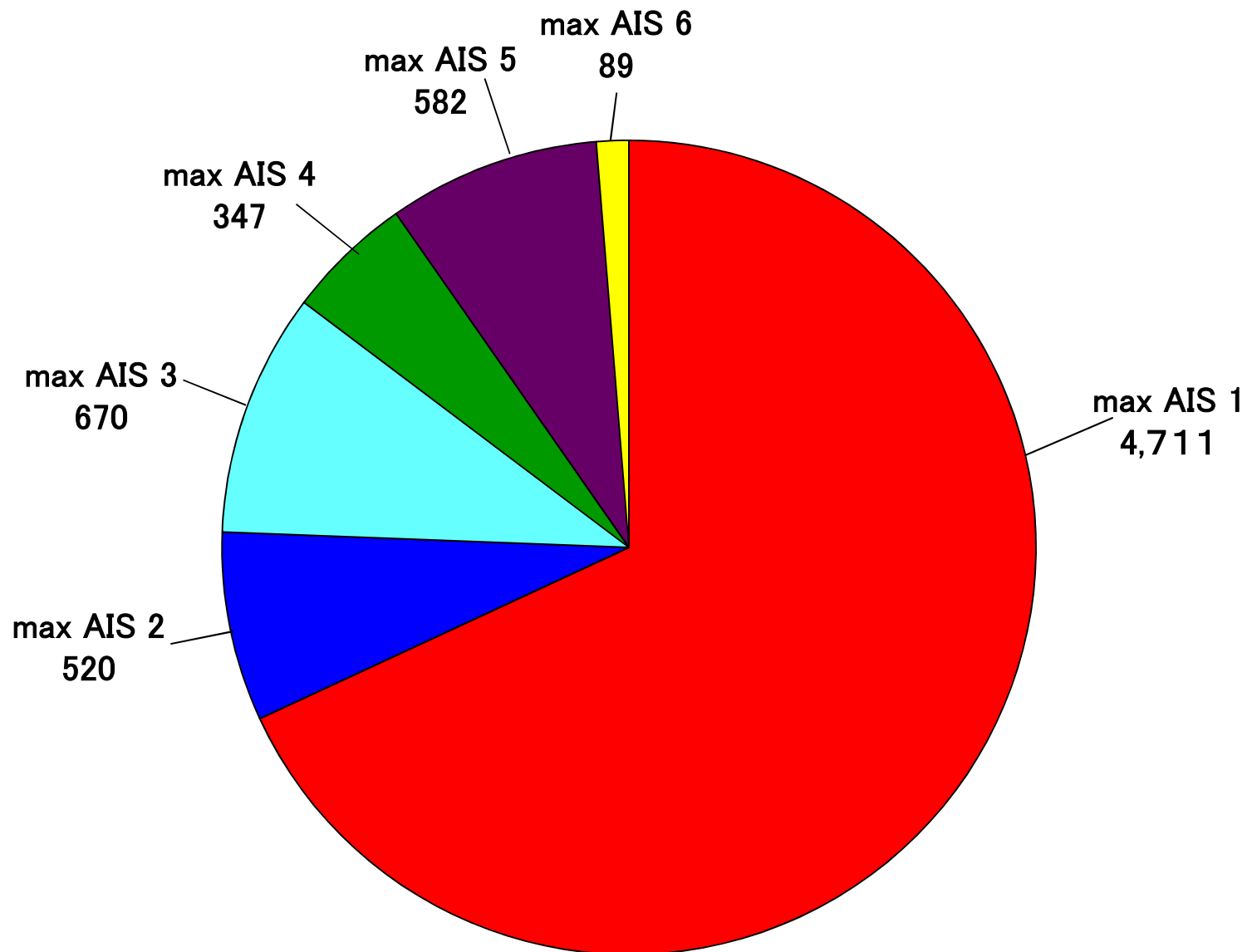


図37I 体表・熱傷・他の外傷とmax AIS重症度

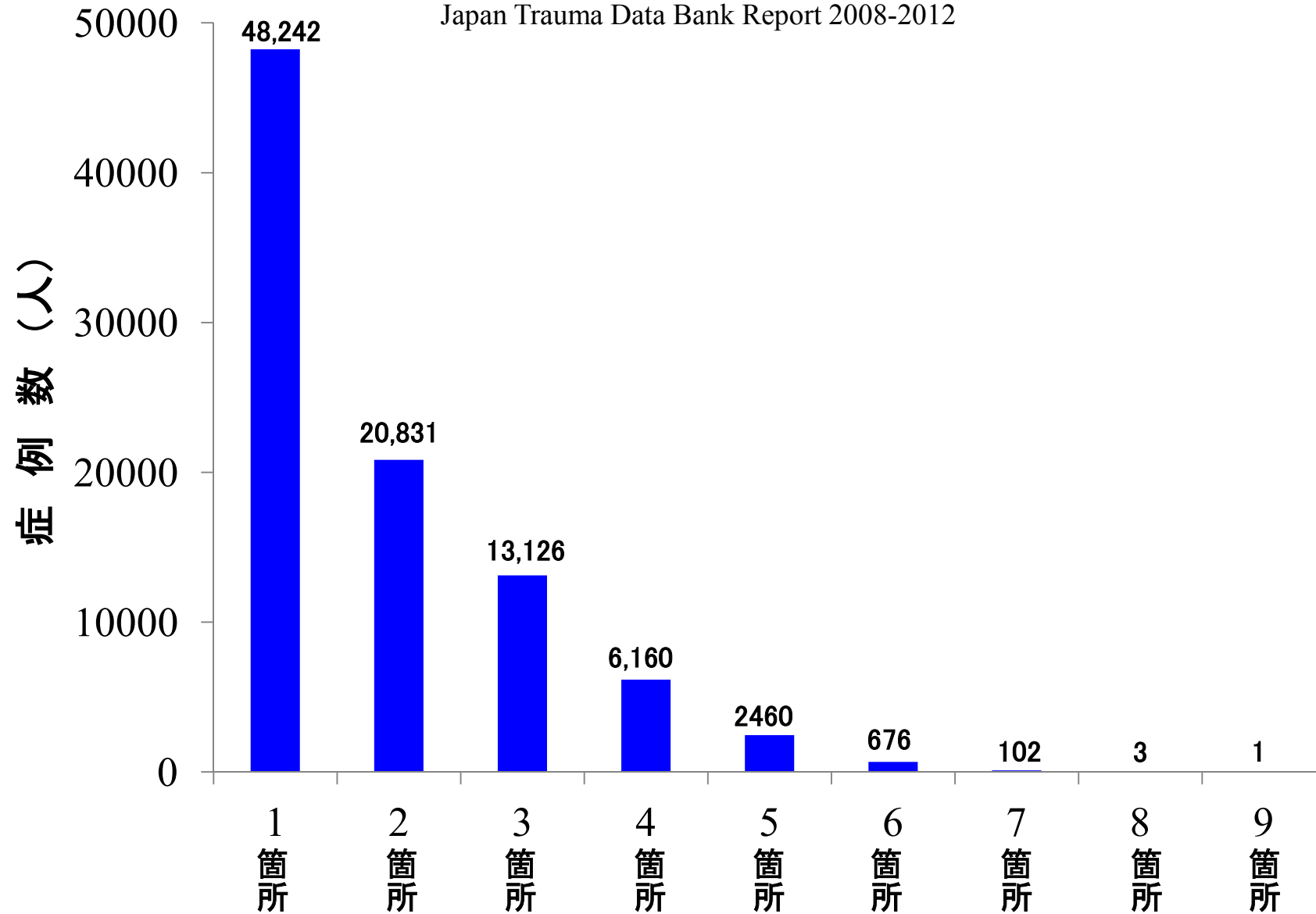


図38 AIS損傷区分に基づく損傷箇所数と症例数

日本外傷データバンク報告 2013
(2008-2012)

JAPAN TRAUMA DATA BANK
REPORT 2013 (2008-2012)

2013年10月21日



日本救急医学会 診療の質評価指標に関する委員会
委員長 浅利 靖

日本外傷学会 ト라우マレジストリー検討委員会
委員長 坂本哲也

タスクフォース

青木 則明
上野 正人
内田 靖之
織田 順
阪本雄一郎
木村昭夫
齋藤大蔵
田中 啓司
東平日出夫
中原 慎二
林 宗貴
福田充宏
増野智彦
山口芳裕